

令和3年度

# 企業局の概要



宮城県企業局

## 表 紙

左上：高田水管橋塗装工事現場（加美町）（水道用水供給事業）

右上：大楯浄水場（仙台市）（工業用水道事業）

左下：仙台港周辺地域（仙台市）（地域整備事業）

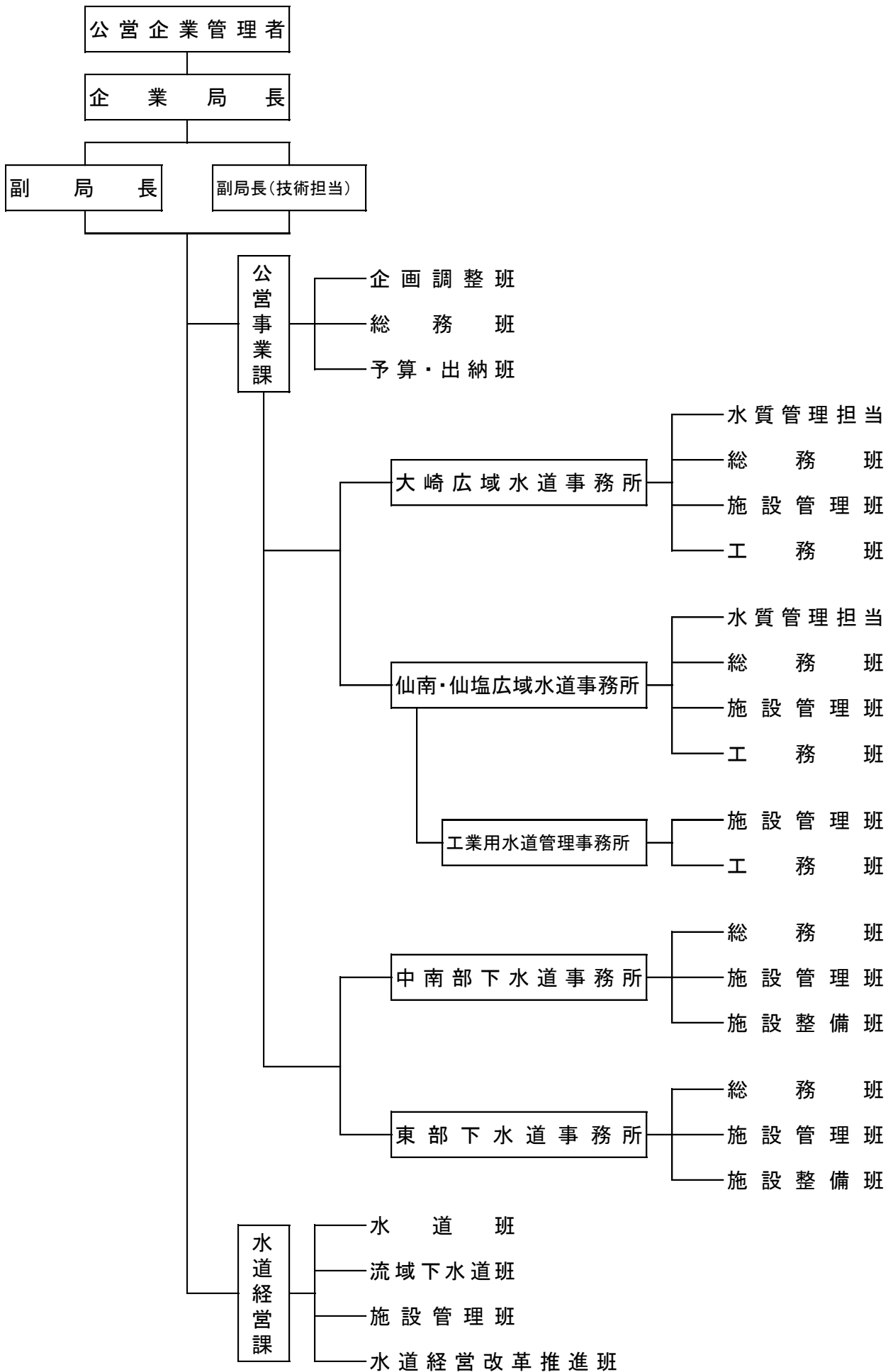
右下：県南浄化センター（岩沼市）（流域下水道事業）

# 目 次

I	企業局の組織	1
1	組織図	1
2	職員数一覧表	2
3	所在地	2
4	分掌事務	3
II	令和3年度予算の概要	4
III	事業の概要	6
1	水道用水供給事業	7
(1)	大崎広域水道事業	7
(2)	仙南・仙塩広域水道事業	12
2	工業用水道事業	20
(1)	仙塩工業用水道事業	20
(2)	仙台圏工業用水道事業	25
(3)	仙台北部工業用水道事業	30
3	地域整備事業	35
4	流域下水道事業	38
(1)	仙塩流域下水道事業	38
(2)	阿武隈川下流流域下水道事業	45
(3)	鳴瀬川流域下水道事業	51
(4)	吉田川流域下水道事業	57
(5)	北上川下流流域下水道事業	63
(6)	北上川下流東部流域下水道事業	69
(7)	迫川流域下水道事業	75

# I 企業局の組織

## 1 組織図(令和3年4月1日現在)



## 2 職員数一覧

(令和3年4月1日現在)

課所名	区分	事務	技術	労務	併任	合計
公営事業課		15(－)	1(－)		[21]	16(－)
水道経営課		15(－)	11(－)			26(－)
本局計		30(－)	12(－)		[21]	42(－)
大崎広域水道事務所		4( 1)	16(－)	1(－)		21( 1)
仙南・仙塩広域水道事務所		6(－)	20( 1)	0( 1)		26( 2)
中南部下水道事務所		4(－)	13( 1)			17( 1)
東部下水道事務所		4(－)	13(－)			17(－)
地方機関計		18( 1)	62( 2)	1( 1)		81( 4)
合計		48( 1)	74( 2)	1( 1)	[21]	123( 4)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。副局長は公営事業課に含めています。

※2 ( )内の数字は再任用職員数で、外書きで計上しています。

## 3 所在地

課所名	郵便番号	所在地	電話番号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022 - 211 - 3413
水道経営課	〃	〃	022 - 211 - 3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229 - 67 - 6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1号	0224 - 25 - 8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022 - 293 - 5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4番1号	022 - 367 - 4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5番地の2	0225 - 23 - 7381

## 4 分掌事務

## (1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画, 調整及び管理に関すること。 2 広報及び広聴に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 成案文書の審査並びに文書の收受, 発送, 編纂及び保存に関すること。 5 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 6 局の組織及び職員の定数に関すること。 7 職員の任免, 分限, 懲戒その他の身分取扱に関すること。 8 給与, 勤務時間その他の勤務条件, 研修及び福利厚生に関すること。 9 職員の表彰に関すること。 10 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 11 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 12 資産の取得, 管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 13 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 14 経理事務その他出納事務に関すること。 15 会計事務の指導に関すること。 16 工事の検査に関すること。 17 有価証券及び担保物の出納, 保管に関すること。 18 出納検査に関すること。 19 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 20 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 21 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 22 地域整備事業に係る貸付に関すること。 23 地方機関に関すること。 24 その他課の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事及び技術管理・指導に関すること。 8 水道経営改革に関すること。

## (2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩, 阿武隈川下流, 鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流, 北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

## II 令和3年度予算の概要

### 1 収益的収支予算

企業局所管4事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は303億9千余万円で前年度より6億5千5百余万円の減(△2.1%)、収益的支出は286億8千4百余万円で前年度より10億2千余万円の減(△3.4%)、収支差額は17億5百余万円の黒字で黒字幅は前年度より3億6千4百余万円の増となっています。

### 2 資本的収支予算

資本的収入は70億5千4百余万円で前年度より8億余万円の減(△10.2%)、資本的支出は163億4千9百余万円で前年度より9億2千8百余万円の減(△5.4%)、収支差額は△92億9千4百余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額は前年度より1億2千7百余万円の減となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額92億9千4百余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

令和3年度 企業会計予算一覧表（当初予算）

収支	水道用水供給事業				工業用水道事業						流域下水道事業						地城整備	合計
	大崎	仙南・仙塩	計	仙塩	仙塩	仙塩	仙塩	仙塩	阿武隈	鳴瀬川	吉田川	北上川	北上川東部	迫川	計			
営業収益	2,980,847	8,987,328	11,968,175	602,983	518,721	510,675	1,632,359	1,575,085	1,545,161	202,831	521,832	582,340	541,946	326,442	5,275,637	572,709	19,448,880	
料金収入	2,953,009	8,953,893	11,906,902	602,574	501,981	510,675	1,615,230	1,575,085	1,545,161	202,831	521,832	582,340	541,946	326,442	5,275,637	482,270	19,280,039	
その他	27,838	33,435	61,273	389	16,740	0	17,129	0	0	0	0	0	0	0	0	90,439	168,841	
営業外収益	174,727	1,065,996	1,240,723	149,379	36,149	94,344	279,872	2,095,297	3,020,641	482,665	809,017	964,008	1,139,714	909,136	9,420,478	104	10,941,177	
他会計補助金	0	917	917	0	0	0	0	384,267	501,463	111,161	224,356	450,870	290,022	339,379	2,301,518	0	2,302,435	
その他	174,727	1,065,079	1,239,806	149,379	36,149	94,344	279,872	1,711,030	2,519,178	371,504	584,661	513,138	849,692	569,757	7,118,960	104	8,638,742	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(A)	3,155,574	10,053,324	13,208,898	752,342	554,870	605,019	1,912,231	3,670,382	4,565,802	685,496	1,330,849	1,526,348	1,681,660	1,235,578	14,696,115	572,813	30,390,057	
営業費用	2,645,543	8,080,143	10,725,686	668,592	412,796	506,171	1,587,559	3,518,290	4,438,135	637,719	1,280,866	1,281,760	1,562,917	1,041,812	13,761,499	324,940	26,399,684	
営業外費用	232,902	1,119,039	1,351,941	50,305	32,122	46,401	128,828	105,771	98,253	41,470	40,895	79,629	66,586	62,533	495,137	2,728	1,978,634	
特別損失	83,092	151,137	234,229	0	0	0	0	26,556	11,801	3,168	0	0	8,063	0	49,588	10,163	293,980	
予備費	1,500	6,000	7,500	500	500	300	1,300	700	800	300	600	400	400	300	3,500	0	12,300	
計(B)	2,963,037	9,356,319	12,319,356	719,397	445,418	552,872	1,717,687	3,651,317	4,548,989	682,657	1,322,361	1,361,789	1,637,966	1,104,645	14,309,724	337,831	28,684,598	
差引当年度損益(A)-(B)	192,537	697,005	889,542	32,945	109,452	52,147	194,544	19,065	16,813	2,839	8,488	164,559	43,694	130,933	386,391	234,982	1,705,459	
企業債	201,800	386,700	588,500	90,000	206,900	0	296,900	289,400	252,300	26,400	83,400	139,800	94,900	72,600	958,800	0	1,844,200	
他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0	62,000	207,000	50,000	50,000	50,000	229,000	50,000	698,000	0	698,000	
出資金	161,538	16,745	178,283	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	178,283	
国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	513,864	498,508	76,533	119,347	202,872	224,279	136,045	1,771,448	0	1,771,448	
他会計補助金	160,483	15,647	176,130	0	0	0	0	1,613	5,366	1,316	1,816	1,741	2,625	3,258	17,735	0	193,865	
固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
諸収入・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
工事負担金	0	0	0	15,756	230,670	0	246,426	237,136	224,342	78,145	63,457	72,639	82,023	63,756	821,498	0	1,067,924	
他会計貸付金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,301,000	1,301,000	
計(C)	523,821	419,092	942,913	105,756	437,570	0	543,326	1,104,013	1,187,516	232,394	318,020	467,052	632,827	325,659	4,267,481	1,301,000	7,054,720	
建設改良費	1,170,724	3,298,269	4,468,993	143,080	660,937	14,677	818,694	994,113	952,116	182,877	249,003	349,821	389,302	265,293	3,382,525	84,650	8,754,862	
企業債償還金	574,290	2,970,502	3,544,792	69,304	13,760	0	83,064	262,463	396,195	68,745	182,248	355,924	215,555	269,721	1,750,851	0	5,378,707	
長期借入金償還金	0	0	0	54,899	27,213	134,577	216,689	354,000	94,000	43,000	260,000	154,000	246,000	150,000	1,301,000	0	1,517,689	
長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	698,000	698,000	
国庫補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般会計繰出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(D)	1,745,014	6,268,771	8,013,785	267,283	701,910	149,254	1,118,447	1,610,576	1,442,311	294,622	691,251	859,745	850,857	685,014	6,434,376	782,650	16,349,258	
差引補填財源(C)-(D)	△ 1,221,193	△ 5,849,679	△ 7,070,872	△ 161,527	△ 264,340	△ 149,254	△ 575,121	△ 506,563	△ 254,795	△ 62,228	△ 373,231	△ 392,693	△ 218,030	△ 359,355	△ 2,166,895	518,350	△ 9,294,538	

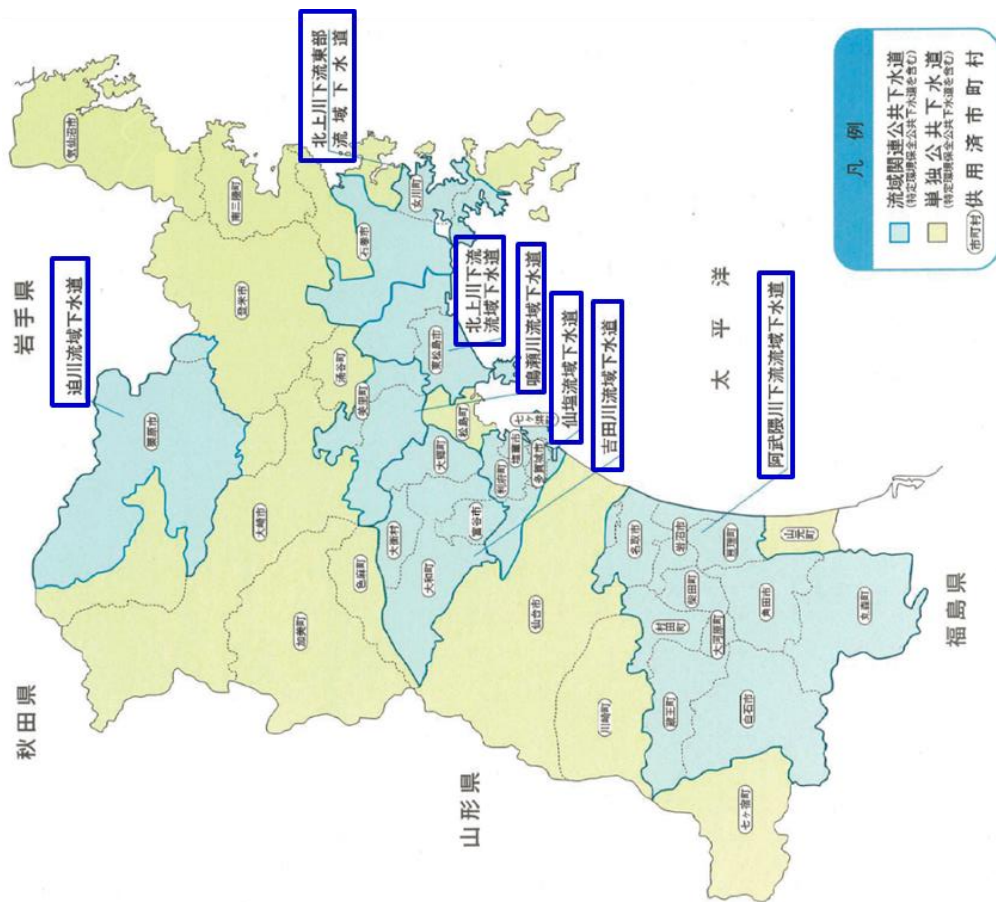
(単位：千円)



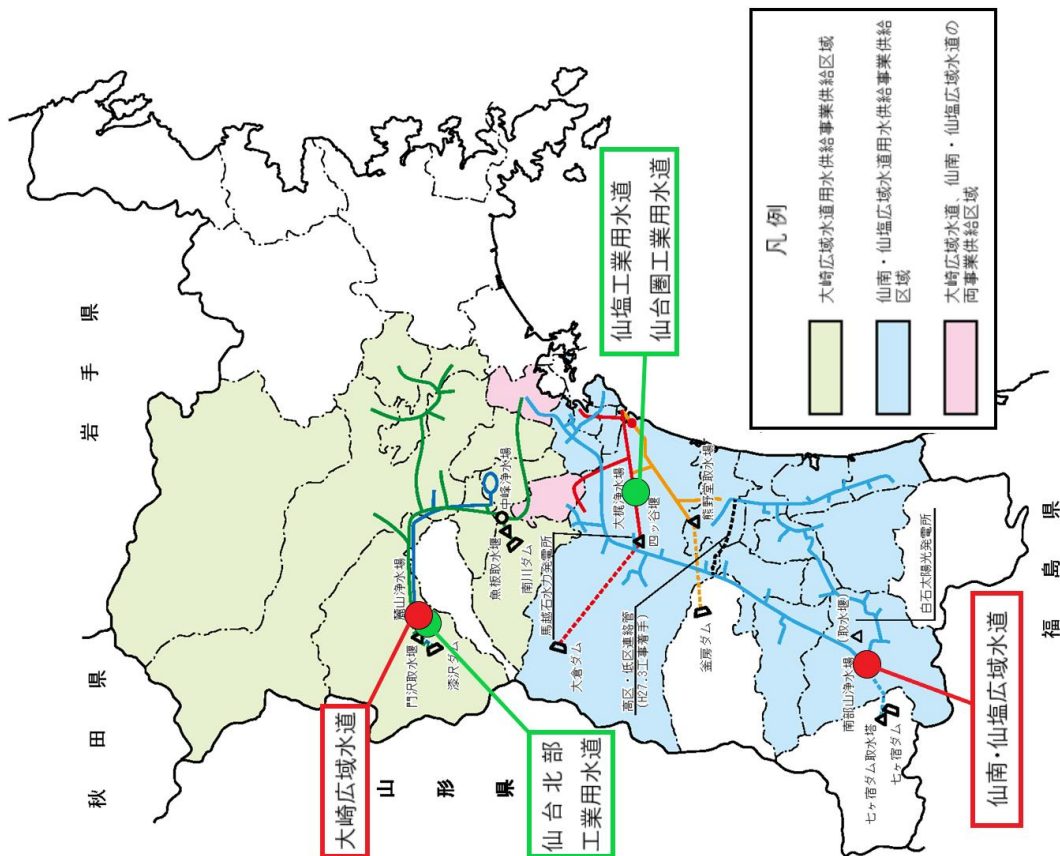
### III 事業の概要

企業局事業概要図

#### 流域下水道事業



#### 水道用水供給事業・工業用水道事業



## 1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

### (1) 大崎広域水道事業

#### ① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m<sup>3</sup>の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m<sup>3</sup>の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着工した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成(平成7年度から給水開始)し、現在は、一日最大18,850 m<sup>3</sup>の給水が可能となっています。

#### ● 令和3年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	21,651,800 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	59,320 m <sup>3</sup>

#### ● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m <sup>3</sup>	82,300 m <sup>3</sup>	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m <sup>3</sup>	37,700 m <sup>3</sup>	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m <sup>3</sup>	120,000 m <sup>3</sup>	

#### ● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位: m<sup>3</sup>/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

#### ● 給水計画

漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m <sup>3</sup> /日
	昭和58年4月	82,300 m <sup>3</sup> /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m <sup>3</sup> /日
	水需要により対応	18,850 m <sup>3</sup> /日

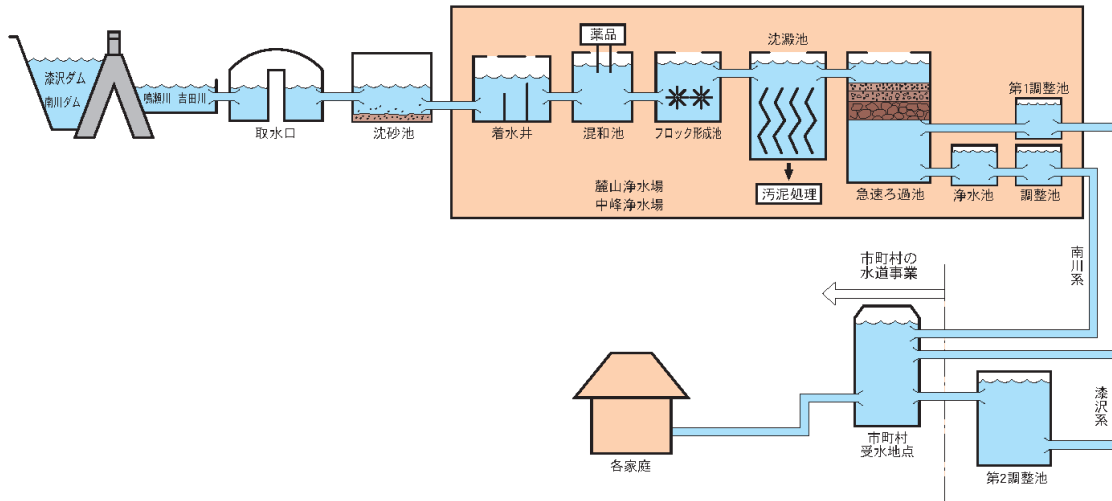
#### ● 計画目標年次 未定

#### ● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭和 48 年度～昭和 54 年度
	第二期工事	昭和 55 年度～昭和 57 年度
南 川 系	第一期工事	昭和 58 年度～平成 6 年度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯水施設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建設利息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国庫補助金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企業債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出資金	3,806,000	3,308,000	498,000
	その他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円 〕  
〔 南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位：%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 ( 松 島 町 )	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 発電 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km <sup>2</sup> 総貯水量 18,000,000 m <sup>3</sup> 本事業取水分 上水道 88,500 m <sup>3</sup> /日 工業用水 60,000 m <sup>3</sup> /日	南川ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持 型式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km <sup>2</sup> 総貯水量 10,000,000 m <sup>3</sup> 本事業取水分 上水道 40,000 m <sup>3</sup> /日
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2門 取水口 2門 土砂吐ゲート, 管理橋 管理室, 電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m L=2.1m 洪水吐ゲート1門, 水位調節ゲート2門 水道用取水ゲート2門 管理橋, 電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2坑 L=4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm L=4,345m 水管橋 2橋 L=151m 管理室, 電気計装設備一式	沈砂池 2池 ポンプ井 1井 立軸斜流ポンプ 3台(4台) 導水管 φ700mm L=1,758m ポンプ棟, 動力・電気計装設備一式 管理棟, 活性炭注入設備 水管橋 1橋
浄水施設	着水井 1井 活性炭接触池 1池 混和池 2池 フロック形成池 4池 薬品沈殿池 4池 急速ろ過池 8池 第一調整池 RC造 2池 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 3,646 m <sup>2</sup> 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外	着水井 1井 混和池 2池 フロック形成池 2池 薬品沈殿池 2池 急速ろ過池 4池(6池) 浄水池 RC造 2池 調整池 1池 管理棟 RC造 地下1階, 地上2階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC造 1池 送水管敷設 φ100mm～φ1,350mm L=99,806m 増圧ポンプ設備 水管橋 17橋[うち添架2] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ200mm～φ600mm L=25,871m 水管橋 8橋[うち添架1] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

( ) 内は最終事業計画

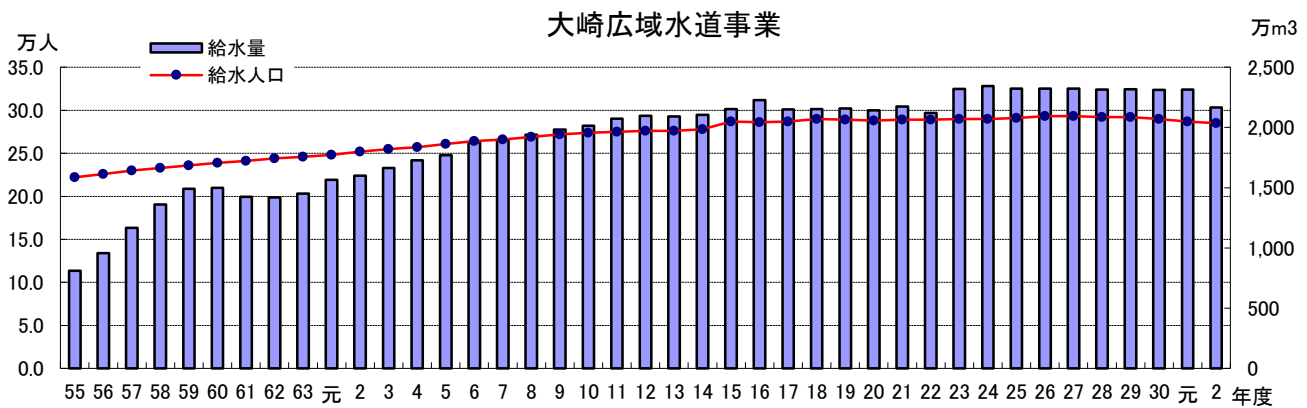
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A	施設能力 m <sup>3</sup> /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B	契約水量 m <sup>3</sup> /日	75,320	75,300	75,300	74,150	74,150
C	責任水量 m <sup>3</sup> /日	60,280	60,240	60,240	59,320	59,320
D	取水量 m <sup>3</sup> /年	24,323,254	24,564,866	24,659,383	—	—
E	給水量 m <sup>3</sup> /年	23,186,906	23,120,128	23,147,426	21,657,320	21,651,800
F	1日平均給水量 m <sup>3</sup>	63,526	63,343	63,244	59,335	59,320
G	1日最大給水量 m <sup>3</sup>	(7/12)71,232	(8/3)69,659	(8/7)72,310	—	—
H	有効水量 m <sup>3</sup> /年	23,184,228	23,115,468	23,147,326	—	—
I	1日平均有効水量 m <sup>3</sup>	63,518	63,330	63,224	—	—
J	無効水量 m <sup>3</sup> /年	2,678	4,660	100	—	—
K	有収水量 m <sup>3</sup> /年	23,183,027	23,114,812	23,140,706	21,651,800	21,651,800
L	1日平均有収水量 m <sup>3</sup>	63,515	63,328	63,226	59,320	59,320
M	動力費 千円	58,719	65,292	63,291	73,379	75,326
N	薬品費 千円	43,005	45,589	53,173	53,015	70,276
O	資本費 千円	1,366,500	1,411,154	1,373,664	1,375,894	1,401,870

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ S55～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

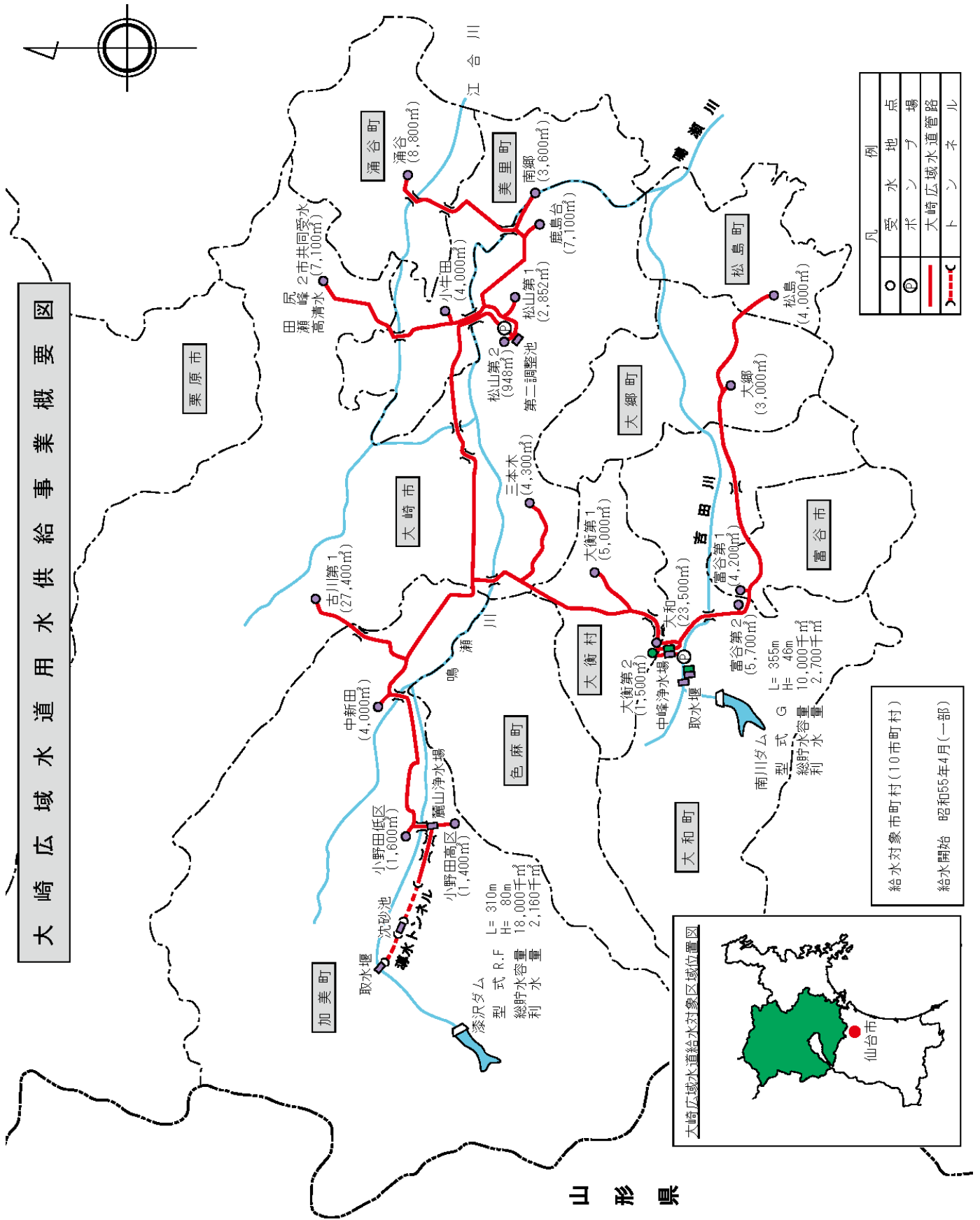
年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
基本料金	円/m <sup>3</sup> /月	950.00			496.00	
使用料金	円/m <sup>3</sup>	67.00			91.00	
供給単価 (V/K)	円/m <sup>3</sup>	126.05	126.24	126.14	123.61	123.99
給水原価 (W/K)	円/m <sup>3</sup>	101.69	107.31	103.74	130.70	127.85
資本費 (O/K)	円/m <sup>3</sup>	58.94	61.05	59.36	63.55	64.75

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3	
収入	営業収益(除受託)	千円	2,925,240	2,922,290	2,922,254	2,679,061	2,687,325
	Vうち料金収入	千円	2,922,164	2,917,978	2,918,875	2,676,381	2,684,553
	営業外収益	千円	184,175	173,960	172,975	230,250	174,719
	特別利益	千円	—	57,450	25,323	6,269	—
	計	千円	3,109,415	3,153,700	3,120,552	2,915,580	2,862,044
支出	営業費用	千円	2,332,835	2,399,250	2,384,911	2,575,574	2,557,901
	営業外費用	千円	111,874	98,044	85,002	261,030	232,902
	特別損失	千円	71,100	3,836	126,215	51,179	77,675
	W経常費用(除受託)	千円	2,357,467	2,480,518	2,400,679	2,829,994	2,768,269
	計	千円	2,515,809	2,501,131	2,596,128	2,887,783	2,868,478
当年度純利益	千円	683,158	670,136	594,055	205,729	192,537	

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m<sup>3</sup>の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m<sup>3</sup>の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部 (15 市町) 給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町全てに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m<sup>3</sup>の給水が可能となっています。

● 令和 3 年度の業務予定量

給水市町村数	8 市 9 町
年間総給水量	64,651,200 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	177,127 m <sup>3</sup>

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計 画 取 水 量	計 画 給 水 量	取 水
ダ ム 取 水	300,000 m <sup>3</sup>	279,000 m <sup>3</sup>	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m <sup>3</sup>	274,300 m <sup>3</sup>	白 石 川 表 流 水
計	595,000 m <sup>3</sup>	553,300 m <sup>3</sup>	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位: m<sup>3</sup>/日)

市 町 名	給 水 量	市 町 名	給 水 量
白 石 市	24,700	仙 台 市	331,900
角 田 市	21,200	塩 竈 市	11,500
岩 沼 市	21,800	名 取 市	20,700
蔵 王 町	4,500	多 賀 城 市	21,000
大 河 原 町	8,200	富 谷 市	11,500
村 田 町	7,400	松 島 町	5,700
柴 田 町	20,300	七 ヶ 浜 町	10,900
亘 理 町	14,300	利 府 町	12,200
山 元 町	5,500		
仙 南 計	127,900	仙 塩 計	425,400
		合 計	553,300

● 給 水 計 画

ダム取水	平成 2 年 4 月 (一部給水開始)	139,500 m <sup>3</sup> /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m <sup>3</sup> /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m <sup>3</sup> /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m <sup>3</sup> /日

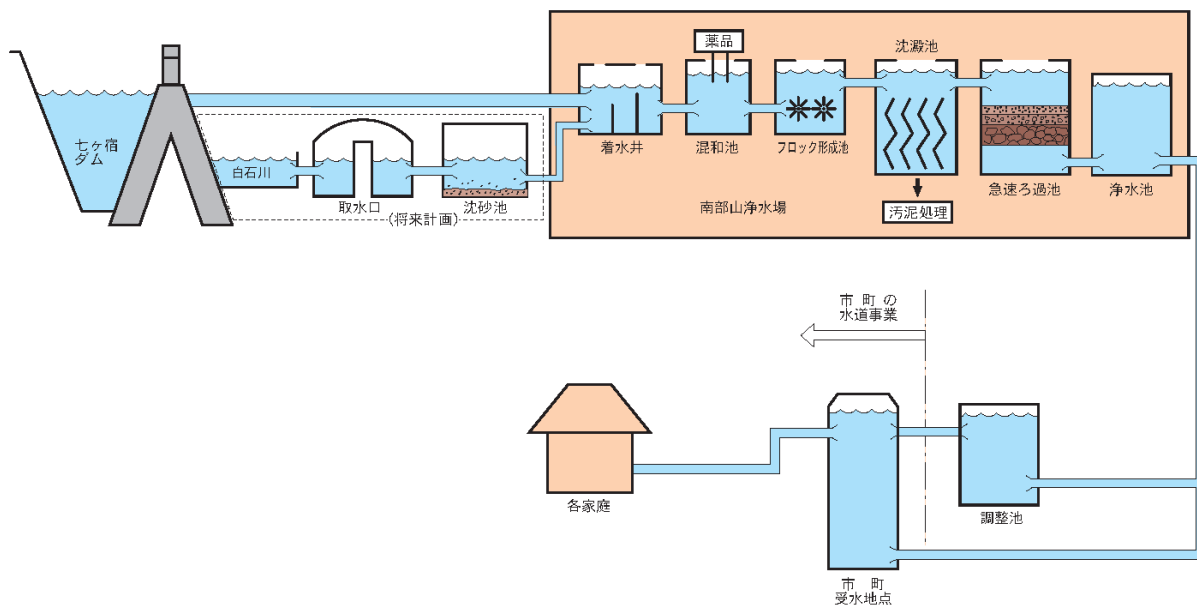
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭和 52 年度～平成元年度
第二期工事(ダム系)	平成 2 年度～平成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	全体計画	第二期工事まで	第三期工事以降	
貯水施設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962		
広域化施設	第一期工事	113,627,437		
	第二期工事	4,422,187		
	第三期工事	16,897,601	14,918,831	
	第四期工事	5,188,743	5,188,743	
	計	140,135,968	120,028,394	20,107,574
建設利息等	110,395,811	108,002,546	2,393,265	
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839	
財源内訳	国庫補助金	66,404,061	59,836,615	6,567,446
	企業債	212,865,000	203,640,000	9,225,000
	出資金	31,427,000	24,721,000	6,706,000
	その他	223,680	221,287	2,393
	合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839

● セッケ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位：%)

区 分	建設費	管理費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0



③ 施設の概要

施設区分	概要	
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目 的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 都市用水, 河川維持 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛 水 面 積 4.1 km <sup>2</sup> 総 貯 水 量 109,000,000 m <sup>3</sup> 本事業取水分 595,000 m <sup>3</sup> /日	
取水施設	ダム直接取水	河道取水
	取水塔 独立型シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2~2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=815m	( 可動堰 堰全長 80.5m 堰 高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC造 沈砂池 RC造 4池 )
導水施設	導水トンネル R=0.9 幌形[φ1,800mm] L=11,135m 水管橋 3橋 水路橋 1橋 総延長 11,703m	( 導水管 φ1,500mm L=2,400m ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5台 ポンプ棟 電気計装設備一式 )
浄水施設	着水井 1井(2井) 薬品混和池 2池(4池) フロック形成池 4池(8池) 傾斜板式横流沈殿池 4池(8池) 重力式急速ろ過池 20池(40池) 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 5,326 m <sup>2</sup> 塩素混和池 2池 浄水池 2池	
送水施設	高区系[4市5町]	低区系[4市4町]
	調整池 RC造 2池 送水管 φ2,400mm~φ150mm L=123,409m 水管橋 24橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC造 2池 送水管 φ1,200mm~φ150mm L=77,060m 水管橋 13橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

( ) 内は最終事業計画

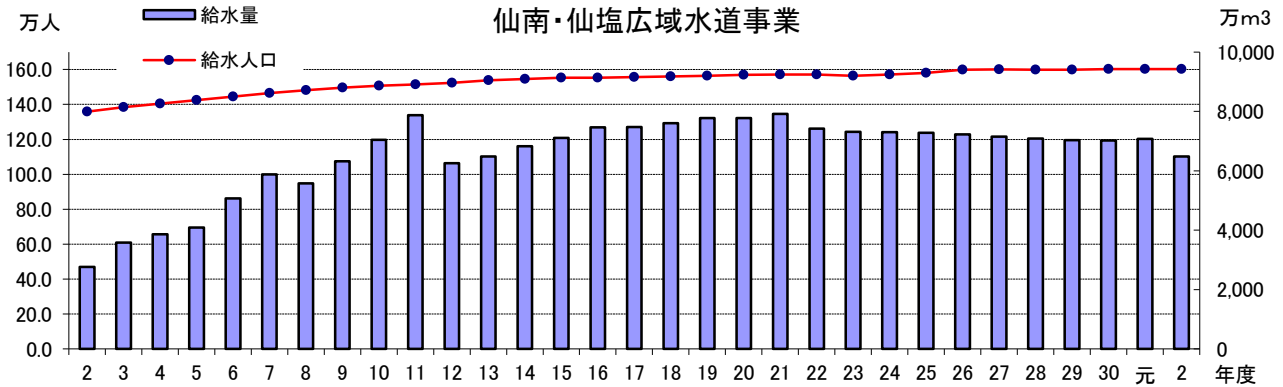
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A	施設能力 m <sup>3</sup> /日	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B	契約水量 m <sup>3</sup> /日	235,500	234,200	233,000	221,900	221,400
C	責任水量 m <sup>3</sup> /日	188,400	187,360	186,400	177,520	177,120
D	取水量 m <sup>3</sup> /年	73,182,670	73,389,660	73,106,470	—	—
E	給水量 m <sup>3</sup> /年	70,285,914	70,183,766	70,813,162	64,848,080	64,651,200
F	1日平均給水量 m <sup>3</sup>	192,564	192,284	193,479	177,666	177,127
G	1日最大給水量 m <sup>3</sup>	(7/11)210,349	(1/24)212,420	(12/25)260,887	—	—
H	有効水量 m <sup>3</sup> /年	70,285,914	70,183,766	70,813,162	—	—
I	1日平均有効水量 m <sup>3</sup>	192,564	192,284	193,479	—	—
J	無効水量 m <sup>3</sup> /年	0	0	0	—	—
K	有収水量 m <sup>3</sup> /年	70,279,560	70,164,970	70,801,479	64,848,080	64,651,200
L	1日平均有収水量 m <sup>3</sup>	192,547	192,233	193,447	177,666	177,127
M	動力費 千円	46,057	48,210	47,419	54,010	52,152
N	薬品費 千円	59,038	55,629	60,289	72,152	109,892
O	資本費 千円	6,442,162	6,388,868	6,327,364	6,164,193	6,076,319

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ H2～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベースで作成

● 料金等

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
	基本料金 円/m <sup>3</sup> /月	1,050.00			817.00	
	使用料金 円/m <sup>3</sup>	54.00			42.00	
	供給単価 (V/K) 円/m <sup>3</sup>	153.32	153.65	153.04	125.86	125.90
	給水原価 (W/K) 円/m <sup>3</sup>	114.42	116.13	112.46	137.62	139.46
	資本費 (O/K) 円/m <sup>3</sup>	91.66	91.05	89.37	95.06	93.99

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収入	営業収益 (除受託) 千円	10,775,245	10,781,607	10,835,661	8,161,592	8,139,902
	Vうち料金収入 千円	10,775,245	10,780,975	10,835,661	8,161,592	8,139,902
	営業外収益 千円	1,107,818	1,078,651	1,066,284	1,083,357	1,064,904
	特別利益 千円	—	147,984	82,458	19,762	—
	計 千円	11,883,063	12,008,242	11,984,403	9,264,711	9,204,806
支出	営業費用 千円	7,327,805	7,581,123	7,453,721	7,696,792	7,927,646
	営業外費用 千円	740,626	631,103	535,892	1,262,383	1,118,955
	特別損失 千円	333,091	166,675	175,171	197,964	144,051
	W経常費用 (除受託) 千円	8,041,351	8,148,218	7,962,120	8,924,268	9,016,206
	計 千円	8,401,522	8,378,901	8,164,784	9,157,139	9,190,652
	当年度純利益 千円	3,704,626	3,695,764	3,848,050	817,879	697,005

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

仙南・仙塩広域水道用水供給事業概要図



凡 例	
○	受 水 地 点
Ⓟ	ポ ン プ 場
—	仙南・仙塩広域水道管路
- - -	ト ン ネ ル

給水対象市町 (17市町)  
給水開始 平成2年4月(一部)

七ヶ宿ダム	
型	ロックフィルダム
堤高	90.0m
集水面積	236.6km <sup>2</sup>
湛水容量	4.1km <sup>3</sup>
総貯水容量	109,000千m <sup>3</sup>
有効貯水容量	99,500千m <sup>3</sup>
最低水位	EL 261.5m
平常時最高水位	EL 293.5m
洪水時最高水位	EL 303.0m

⑤ 再生可能エネルギーの導入

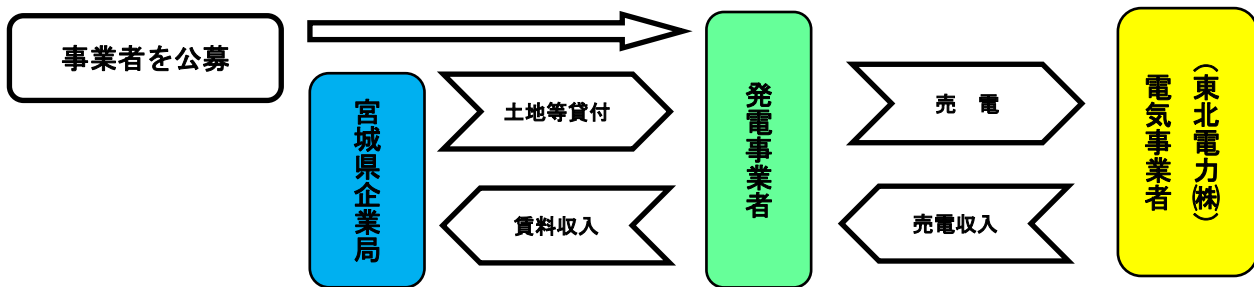
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び省水力発電事業を実施し、再生可能エネルギー導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 ソーラーパワー白石(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m<sup>2</sup> 河道系沈砂池用地 (白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年 (一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日

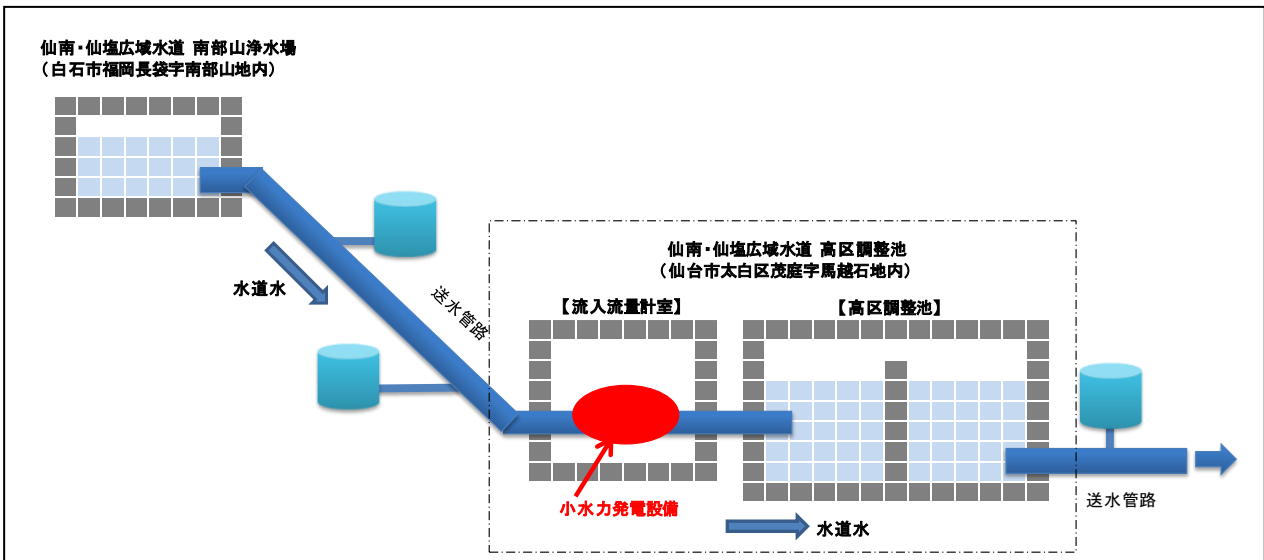


施工前

施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
  - 【構成企業】東北発電工業(株), アジア航測(株),
  - 東北自然エネルギー(株), 日本小水力発電(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池 (仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186 万 kWh/年 (一般家庭約 550 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 380 万円 (過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 2 億 5,000 万円
- ・年間売電 約 5,400 万円 (186 万×29 円=5,394 万円)
- ・使用水量 平均水量: 0.897m<sup>3</sup>/s (約 77,500m<sup>3</sup>/日) (年平均)  
最大水量: 1.25m<sup>3</sup>/s (約 108,000m<sup>3</sup>/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26 年 1 月 24 日
- ・運転開始 平成 26 年 8 月 1 日



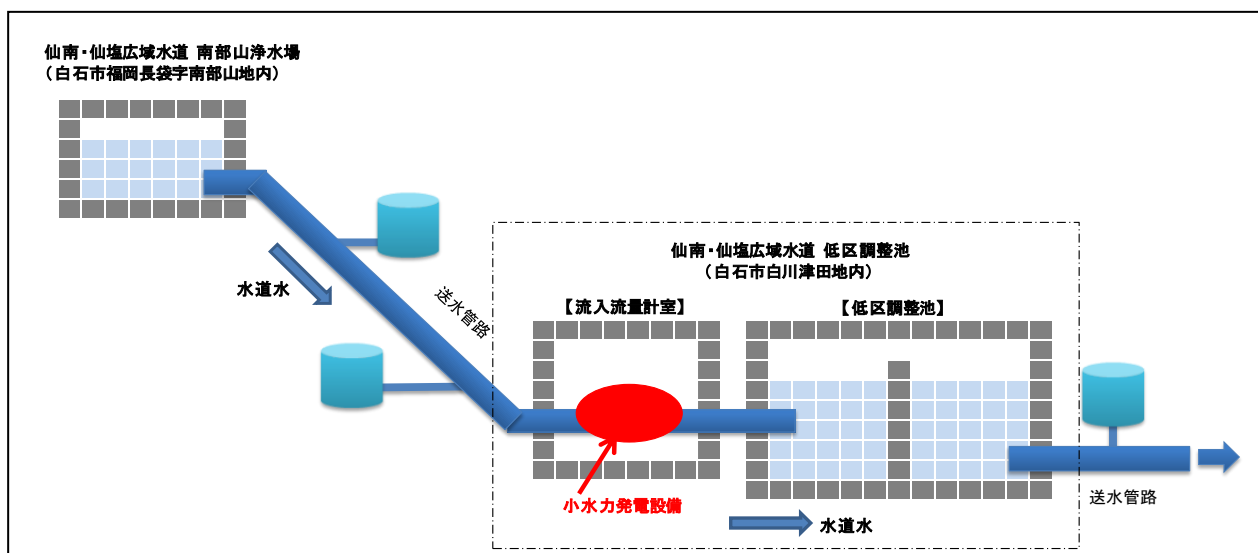
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池 (白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66 万 kWh/年 (一般家庭約 200 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 180 万円 (過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 1 億 500 万円
- ・年間売電 約 2,200 万円 (66 万×34 円=2,244 万円)
- ・使用水量 平均水量: 0.44m<sup>3</sup>/s (約 38,000m<sup>3</sup>/日)  
最大水量: 0.48m<sup>3</sup>/s (約 41,000m<sup>3</sup>/日)
- ・有効落差 最大 27.90m
- ・総落差 34.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成 29 年 11 月 28 日
- ・運転開始 平成 30 年 4 月 9 日



## 2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

### (1) 仙塩工業用水道事業

#### ① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和 32 年度から昭和 38 年度までの 7 年間で建設されたもので、昭和 36 年 11 月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大 100,000 m<sup>3</sup>です。

昭和 39 年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和 46 年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和 49 年度から昭和 63 年度までの 15 年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成 5 年度に終了し、平成 6 年 4 月 1 日より給水を開始しています。

#### ● 令和 3 年度の業務予定量 (4 月 1 日現在)

給水事業所数	42 社
年間総給水量	10,157,950 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	27,830 m <sup>3</sup>

#### ● 水 源

一級河川名取川水系大倉川 (大倉ダム)

#### ● 取 水

広瀬川四ツ谷堰(仙台市青葉区折立郷六)大倉ダム放流水 一日最大 100,000 m<sup>3</sup>

#### ● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m <sup>3</sup>	
水 質 等	濁 度	10 度以下
	水素イオン濃度	PH6.0~8.0

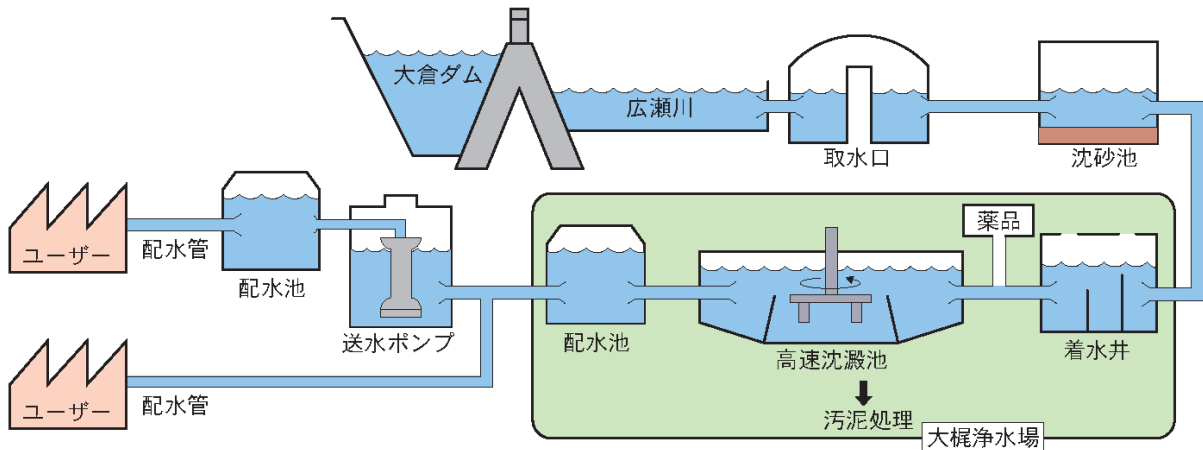
#### ● 給水区域

仙台市, 塩竈市, 多賀城市, 富谷市, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町

● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年度～ 5 年度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	事 業 費				計	
	当初建設	拡張工事	改築工事	拡張工事		
			(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)		
取水・導水・浄水工事費	421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887	
配水工事費	608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264	
用地補償費	24,296	480	336,397	200,178	561,351	
その他	36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844	
計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346	
財源内訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企業債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	その他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	5.6 %	5.6 %
公共	64.2 %	63.1 %
上水道	29.4 %	30.5 %
発電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %



③ 施設の概要

項目	概要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[135,000 m <sup>3</sup> /日] 工業用水道[100,000 m <sup>3</sup> /日] 型式 ダブルアーチ 湛水面積 1.67 km <sup>2</sup> 総貯水量 28,000,000 m <sup>3</sup>
取水施設	取水口, 自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道, 暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm~φ1,000mm) 5,287m
浄水施設	着水井 1井 接合分水井 1井 高速沈殿池 4池 計量室 1式 中央操作室 1棟 電気計装施設 1式
送水施設	配水池 大槻配水池 2池(1池容量2,000 m <sup>3</sup> ) 富谷配水池 2池(1池容量1,000 m <sup>3</sup> ) 配水管延長 φ100mm~φ1,350mm 71,306m 水管橋 13橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 220kW 4台

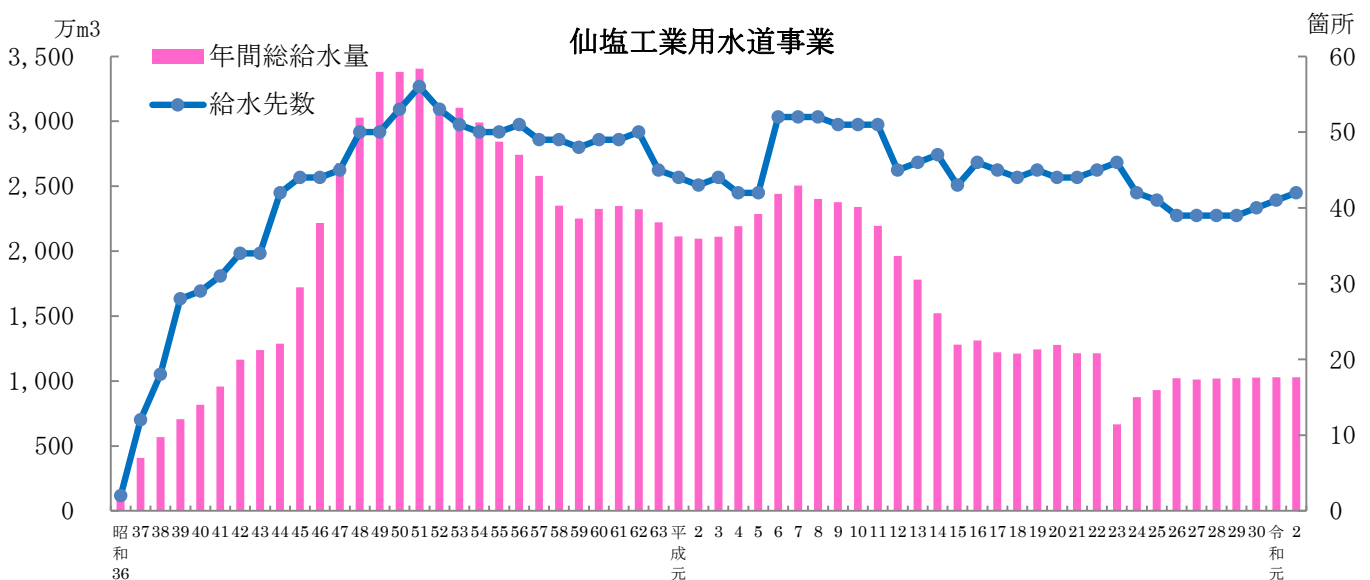
④ 経営の状況

● 給水状況

区分 \ 年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	24,810	23,770	28,360	27,840	27,640	27,890	27,890	27,990	28,030	27,930
契約事業所数(箇所)	44	42	41	39	39	39	39	40	41	42

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和3年4月1日現在)

業 種	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	事業所数
石油製品製造業	9,100	1
電気業	7,500	2
電気機械器具製造業	2,220	5
食料品製造業	2,030	6
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	680	2
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	200	1
印刷・同関連業	500	3
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,540	17
計	27,830	42

● 料金(1立方メートル当たり)

区 分	S36年 11月1日	S45年 4月1日	S48年 4月1日	S50年 4月1日	S52年 8月1日	S56年 8月1日	S60年 4月1日
基本料金	3円50銭	4円50銭	6円	9円	13円	19円	28円
超過料金	7円	9円	12円	18円	26円	38円	56円
特定料金	3円50銭	4円50銭	-	-	-	-	-

区 分	H元年 4月1日	H4年 4月1日	H7年 4月1日	H9年 4月1日	H14年 4月1日	H26年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	28円 28円84銭	33円 33円99銭	36円 37円08銭	36円 37円80銭	54円 56円70銭	54円 58円32銭	54円 59円40銭
超過料金	56円 57円68銭	66円 67円98銭	72円 74円16銭	72円 75円60銭	108円 113円40銭	108円 116円64銭	108円 118円80銭

※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

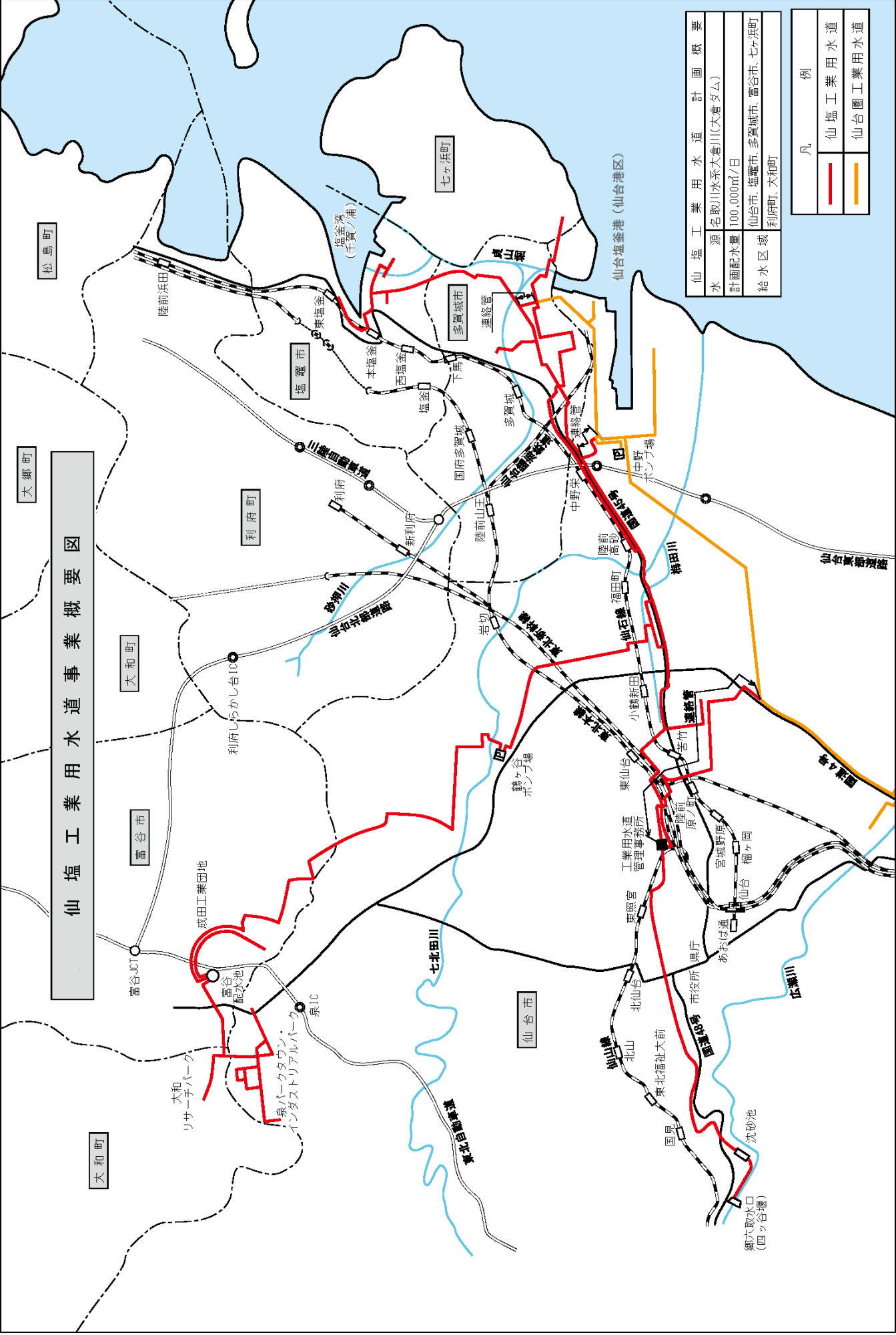
● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営業収益	553,882	558,418	559,723	608,607	602,963
	営業外収益	154,263	149,494	149,747	156,403	149,379
	特別利益	0	0	0	26,584	0
	計	708,145	707,912	709,470	791,594	752,342
支 出	営業費用	620,507	630,964	592,415	650,511	668,592
	営業外費用	14,977	11,115	9,532	66,644	50,305
	特別損失等	12,968	0	24,716	40,036	500
	計	648,452	642,079	626,663	757,191	719,397
当年度純利益		59,693	65,833	82,807	34,403	32,945
当年度未処分利益剰余金		625,628	413,338	345,444	227,215	329,464
供給単価(円/m <sup>3</sup> )		54.22	54.41	54.36	59.13	59.40
給水原価(円/m <sup>3</sup> )		62.24	62.60	58.49	70.29	70.87
資本費(円/m <sup>3</sup> )		22.60	37.84	36.35	35.53	35.84

※H29～R元は決算額(消費税抜き)、R2は最終現計予算額(消費税込み)、R3は当初予算額(消費税込み)

# 仙塩工業用水道事業概要図



仙塩工業用水道	計画概要
水源	名取川水系大倉川(大倉ダム)
計画配水量	100,000m <sup>3</sup> /日
給水区域	仙台市、塩竈市、多賀城市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大和町

凡例	例
<span style="color: red;">—</span>	仙塩工業用水道
<span style="color: orange;">—</span>	仙台圏工業用水道

(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m<sup>3</sup>で、仙台港背後地に立地する石油精製，都市ガス，鉄鋼関連の企業等のほか、名取市，七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 令和 3 年度の業務予定量 (4 月 1 日現在)

給水事業所数	15 社
年間総給水量	14,983,250 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	41,050 m <sup>3</sup>

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川 (釜房ダム)

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m<sup>3</sup>

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m <sup>3</sup>
水 質	原水供給

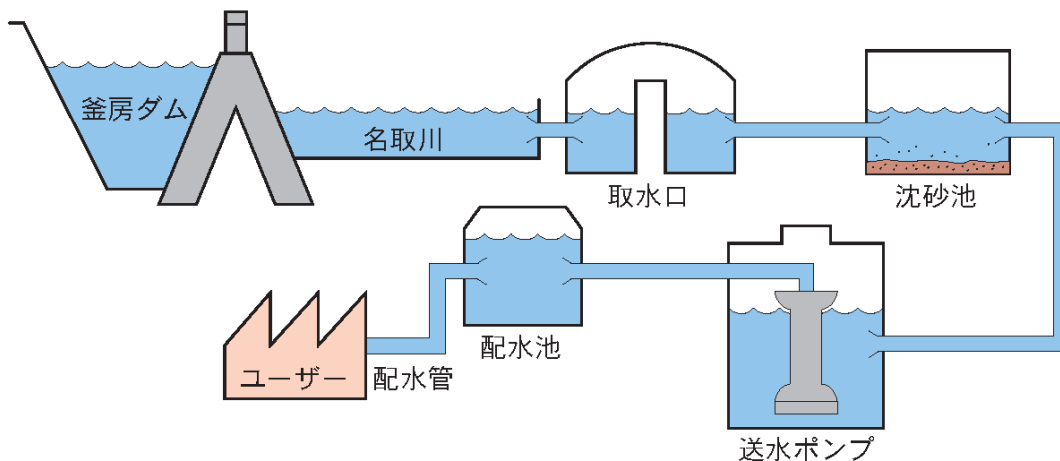
● 給水区域

仙台市，名取市，多賀城市，七ヶ浜町，利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯水工事費		566,260	S46年度まで
取水・送水工事費		1,093,773	S47～S51年度
配水工事費		4,294,447	”
用地補償及び調査費		1,278,412	”
その他		838,289	S42～S51年度
計		8,071,181	
財源内訳	国庫補助金	2,531,400	
	企業債	5,336,000	
	一般会計からの出資金等	200,403	
	その他	3,378	
計		8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45年 事業費 8,720,000千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	6.5%	6.5%
公用	74.6%	74.6%
上水道(仙台市)	18.8%	18.8%
発電	0.1%	0.1%
計	100.0%	100.0%

③ 施設の概要

項 目	概 要																																										
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目 的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[200,000 m <sup>3</sup> /日], 工業用水道[100,000 m <sup>3</sup> /日] 型 式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km <sup>2</sup> 総貯水量 45,300,000 m <sup>3</sup>																																										
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m <sup>3</sup> 2池[走行式吸砂装置付]																																										
送水施設	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ 355kW 3台(うち予備1台) 自家発電機(停電予備用) 送水管 φ1,000mm 総延長175m																																										
配水施設	配水池 2池(1池あたり 2,000 m <sup>3</sup> ) 配水管 φ150mm～φ1,000mm 延長 29,417m <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>配水池～中田</td> <td>φ1,100mm</td> <td>4,712m</td> </tr> <tr> <td>中田～名取</td> <td>φ350mm</td> <td>1,826m</td> </tr> <tr> <td>中田～仙台港</td> <td>φ1,000mm</td> <td>14,618m</td> </tr> </table> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="4">内</td> <td>名取川水管橋</td> <td>543m</td> </tr> <tr> <td>笹川水管橋</td> <td>24m</td> </tr> <tr> <td>広瀬川水管橋</td> <td>304m</td> </tr> <tr> <td>七北田川水管橋</td> <td>156m</td> </tr> </table> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>仙台港</td> <td>φ1,000mm</td> <td>30m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>φ900mm</td> <td>728m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>φ800mm</td> <td>985m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>φ700mm</td> <td>4,149m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>φ600mm</td> <td>634m</td> </tr> <tr> <td>若林</td> <td>φ200mm～φ350mm</td> <td>796m</td> </tr> <tr> <td>南小泉</td> <td>φ150mm</td> <td>407m</td> </tr> <tr> <td>仙塩・仙台圏の連絡管</td> <td>φ500mm</td> <td>532m</td> </tr> </table>	配水池～中田	φ1,100mm	4,712m	中田～名取	φ350mm	1,826m	中田～仙台港	φ1,000mm	14,618m	内	名取川水管橋	543m	笹川水管橋	24m	広瀬川水管橋	304m	七北田川水管橋	156m	仙台港	φ1,000mm	30m		φ900mm	728m		φ800mm	985m		φ700mm	4,149m		φ600mm	634m	若林	φ200mm～φ350mm	796m	南小泉	φ150mm	407m	仙塩・仙台圏の連絡管	φ500mm	532m
配水池～中田	φ1,100mm	4,712m																																									
中田～名取	φ350mm	1,826m																																									
中田～仙台港	φ1,000mm	14,618m																																									
内	名取川水管橋	543m																																									
	笹川水管橋	24m																																									
	広瀬川水管橋	304m																																									
	七北田川水管橋	156m																																									
仙台港	φ1,000mm	30m																																									
	φ900mm	728m																																									
	φ800mm	985m																																									
	φ700mm	4,149m																																									
	φ600mm	634m																																									
若林	φ200mm～φ350mm	796m																																									
南小泉	φ150mm	407m																																									
仙塩・仙台圏の連絡管	φ500mm	532m																																									

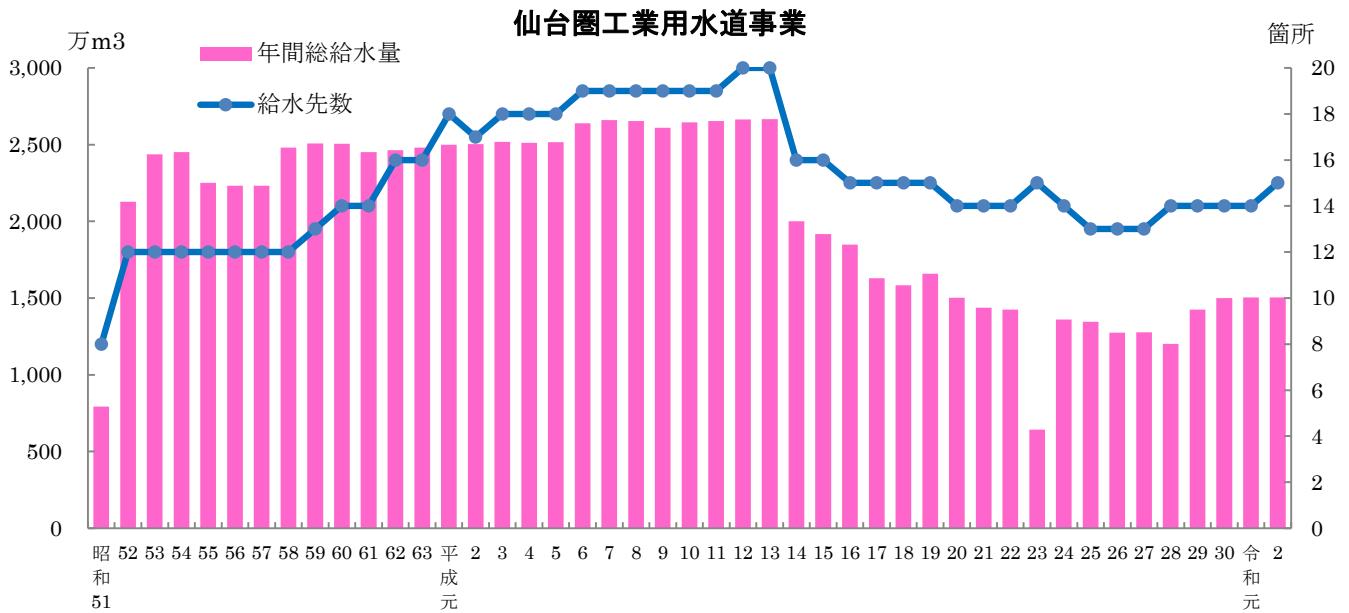
④ 経営の状況

● 給水状況

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2
契約水量 (m <sup>3</sup> /日)		34,490	36,230	34,860	34,860	34,860	33,310	40,990	40,990	40,990	41,950
契約事業所数(箇所)		15	14	13	13	13	14	14	14	14	15

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度 2 月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和 3 年 4 月 1 日現在)

業 種	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	8,300	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	1,300	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	8,360	2
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	500	2
計	41,050	15

● 料金(1立方メートル当たり)

区 分	S51 年 10 月 1 日	S58 年 4 月 1 日	H 元年 4 月 1 日	H9 年 4 月 1 日	H26 年 4 月 1 日	H29 年 4 月 1 日	R 元年 10 月 1 日
基本料金	17 円 —	23 円 —	23 円 23 円 69 銭	23 円 24 円 15 銭	23 円 24 円 84 銭	30 円 32 円 40 銭	30 円 33 円
超過料金	34 円 —	46 円 —	46 円 47 円 38 銭	46 円 48 円 30 銭	46 円 49 円 68 銭	60 円 64 円 80 銭	60 円 66 円

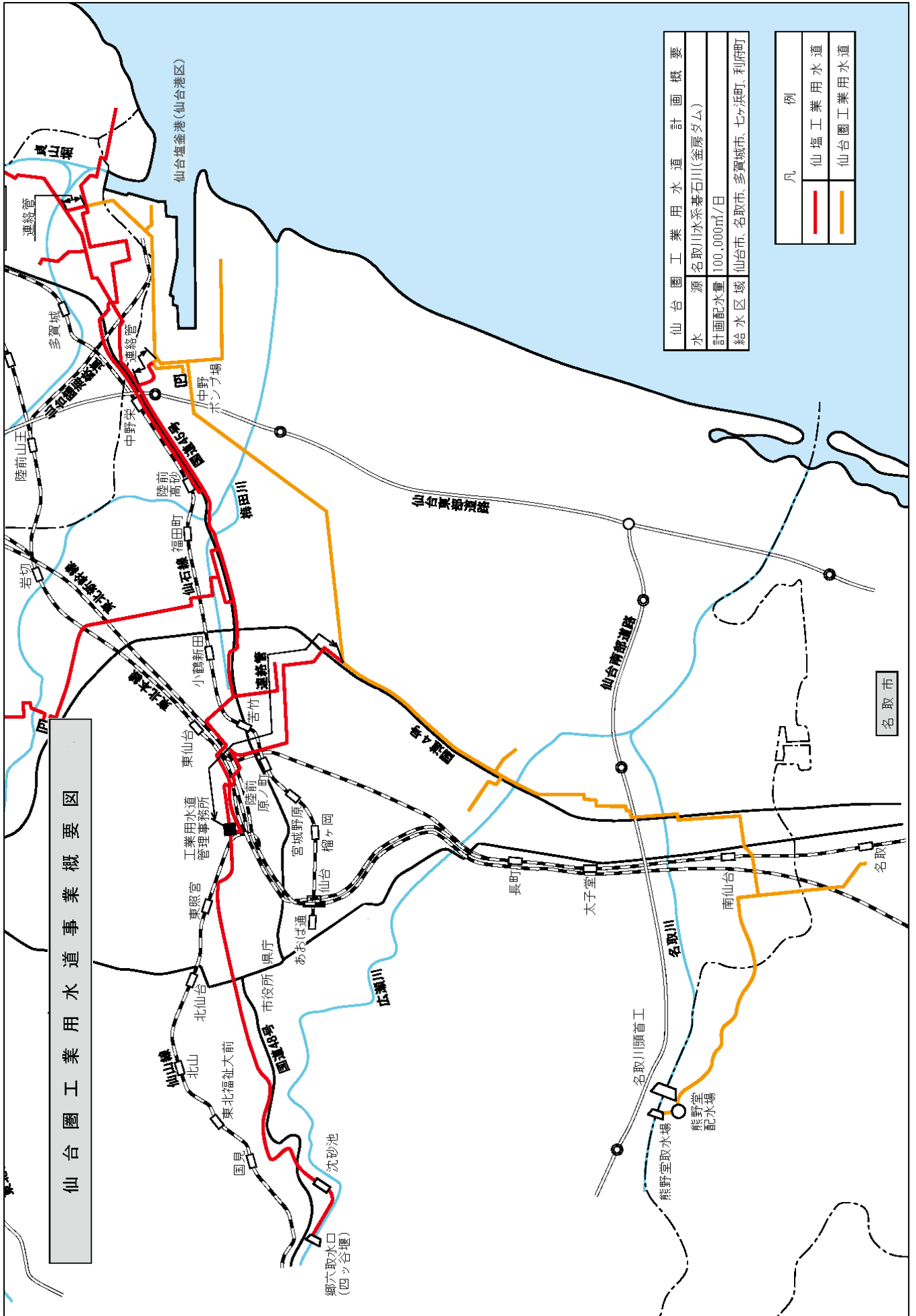
※H 元年 4 月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営業収益	516,845	459,855	466,715	538,361	518,721
	営業外収益	81,644	74,249	46,983	40,661	36,149
	特別利益	0	0	14,331	0	0
	計	598,489	534,104	528,029	579,022	554,870
支 出	営業費用	496,939	433,053	365,232	429,859	412,796
	営業外費用	58	720	1,045	22,435	32,122
	特別損失等	2,502	0	41,427	8,714	500
	計	499,499	433,773	407,704	461,008	445,418
当年度純利益		98,990	100,331	120,325	118,014	109,452
当年度未処分利益剰余金		306,332	370,035	339,174	211,123	334,335
供給単価(円/m <sup>3</sup> )		29.50	30.03	30.04	33.01	33.00
給水原価(円/m <sup>3</sup> )		24.52	28.93	24.35	31.98	29.25
資本費(円/m <sup>3</sup> )		8.91	12.95	9.00	8.53	7.71

※H29～R元は決算額(消費税抜き), R2は最終現計予算額(消費税込み), R3は当初予算額(消費税込み)





(3) 仙台北部工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地のほか、大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m<sup>3</sup>の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

● 令和 3 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	15社
年間総給水量	7,402,200 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	20,280 m <sup>3</sup>

● 水 源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川（漆沢ダム）

● 取 水

門沢取水堰（加美町門沢）漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m<sup>3</sup>

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m <sup>3</sup>
水 質	原水供給 53,500 m <sup>3</sup> /日
	一部浄水（濁度 1 度以下）5,000 m <sup>3</sup> /日（衡東浄水場）

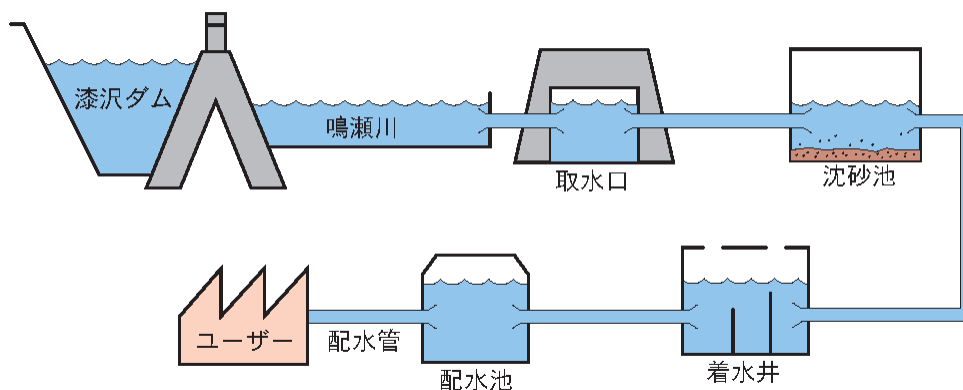
● 給水区域

大崎市，大和町，大衡村，加美町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 50 年度（ダム負担金は昭和 48 年度から負担）
完 成	平成 3 年度
給 水 開 始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費
取水・導水工事費		2,901,559
配水工事費		5,235,756
用地補償費		131,051
その他		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国庫補助金	2,631,406
	企業債	10,638,000
	その他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要	
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)	
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取水堰 長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2門) 取水口 2門 土砂吐ゲート, 管理橋 管理室 電気計装設備一式	
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等 2坑 4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm 4,345m 水管橋 2橋 151m 管理室 電気計装設備一式	
浄水施設 〔衡東浄水場〕	着水井 1井 フロック形成池 2池 沈殿池 2池	ろ過池 2池 管理棟(平屋) 1棟 各種計装設備 1式
配水施設	配水池 (麓山) 1,215 m <sup>3</sup> 2池 配水管 φ900mm 29,749m 内〔掃出水管橋 204m 高田水管橋 274.6m〕 φ700mm 518m 内(高倉水管橋 300m) φ900mm 1,499m φ400mm 3,569m φ250mm～φ400mm 142m (衡東枝線) φ150mm～φ600mm 8,714m (仙台北部中核工業団地内) φ150mm～φ250mm 954m (枝線) φ100mm～φ200mm 3,877m (第二北部中核工業団地) 桔梗平配水池 920 m <sup>3</sup> 1池	

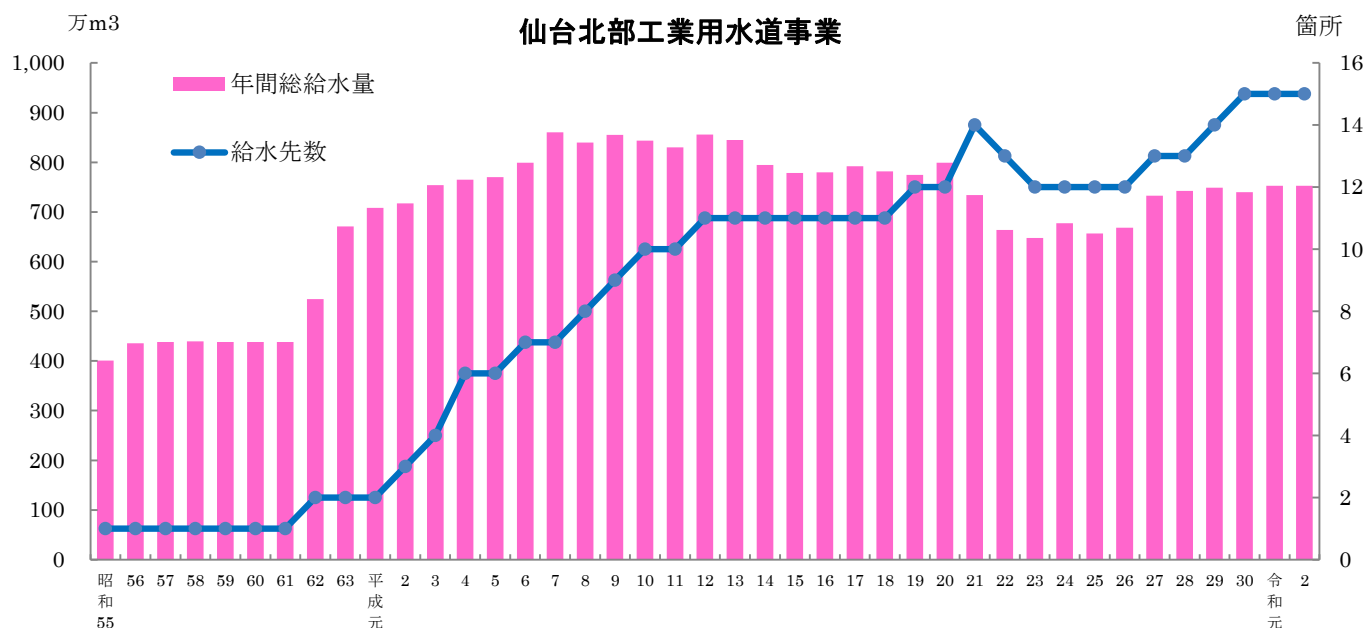
④ 経営の状況

● 給水状況

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
契約水量(m <sup>3</sup> /日)	19,070	18,690	17,960	19,660	20,260	20,360	20,360	20,560	20,530	20,280
契約事業所数(箇所)	12	12	13	14	14	14	14	15	15	15

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和3年4月1日現在)

業種	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	事業所数
金属製品製造業	8,840	2
電気機械器具製造業	5,790	6
化学工業	3,150	2
食料品製造業	1,250	2
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	200	1
計	20,280	15

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S55年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	36円	36円 37円8銭	43円 44円29銭	50円 51円50銭	50円 52円50銭	59円 61円95銭	59円 63円72銭
超過料金	72円	72円 74円16銭	86円 88円58銭	100円 103円	100円 105円	118円 123円90銭	118円 127円44銭

区分	R元年 10月1日
基本料金	59円 64円90銭
超過料金	118円 129円80銭

浄水施設で浄化した工業用水の供給を受ける場合は次の料金を加える。

区 分	S62年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	13円	13円 13円39銭	14円 14円42銭	16円 16円48銭	16円 16円80銭	20円 21円	20円 21円60銭
超過料金	26円	26円 26円78銭	28円 28円84銭	32円 32円96銭	32円 33円60銭	40円 42円	40円 43円20銭

区 分	R元年 10月1日
基本料金	20円 22円
超過料金	40円 44円

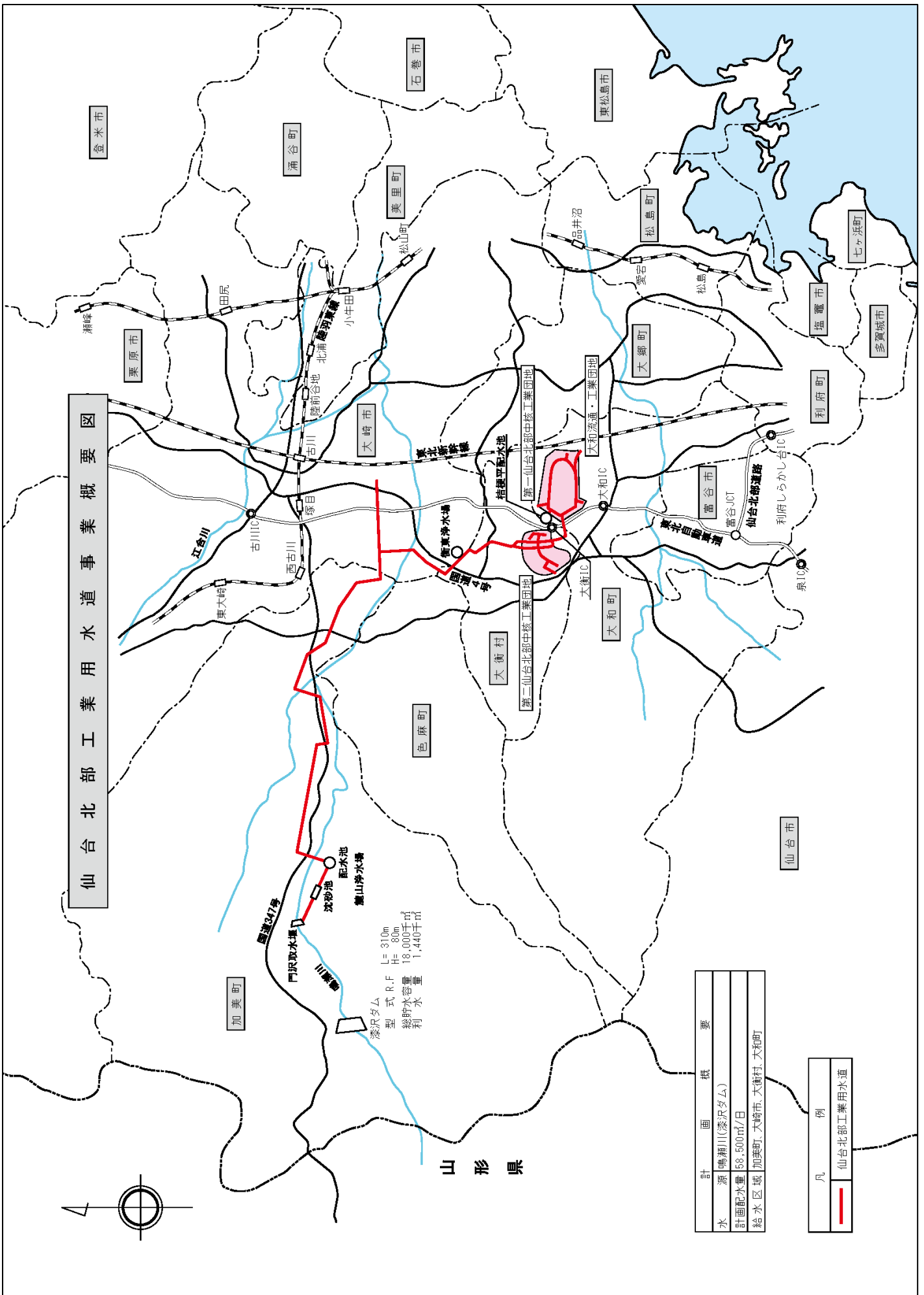
※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営 業 収 益	468,415	462,816	471,043	512,069	510,675
	営 業 外 収 益	74,119	70,249	78,582	90,527	94,344
	特 別 利 益	0	3,105	8,575	7,434	0
	計	542,534	536,170	558,200	610,030	605,019
支 出	営 業 費 用	421,521	421,088	397,742	492,953	506,171
	営 業 外 費 用	1,608	990	501	59,500	46,401
	特 別 損 失 等	0	0	24,711	7,734	300
	計	423,129	422,078	422,954	560,187	552,872
当 年 度 純 利 益		119,405	114,092	135,246	49,843	52,147
当年度未処分利益剰余金		△526,990	△412,898	△277,652	△230,186	△178,039
供給単価(円 / m <sup>3</sup> )		62.53	62.57	62.55	67.31	68.68
給水原価(円 / m <sup>3</sup> )		56.48	57.06	52.88	74.74	74.31
資本費(円 / m <sup>3</sup> )		29.71	40.12	39.56	40.37	43.00

※H29～R元は決算額(消費税抜き)、R2は最終現計予算額(消費税込み)、R3は当初予算額(消費税込み)



### 3 地域整備事業

#### (1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンター（以下「アクセル」という。）の建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

#### (2) 事業内容

##### ① 地域整備事業

アクセル等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

##### ② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

##### ③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

#### (3) 令和3年度の主な事業

##### ① アクセル施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターとの共同施工により建築し、平成12年3月18日に開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1・2階部分のアクセル・ホール及びラボ等は営業を休止していましたが、平成25年度からの本復旧工事により平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3階から5階のオフィス部分については、港湾業務機能を支援する施設として入居率の向上に努めるとともに、適切な維持管理を行いながら更なる経営改善を図っていきます。

なお、アクセルは、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担っています。

#### 建物概要

	所在地	仙台市宮城野区港三丁目1番3号
	敷地面積	26,076 m <sup>2</sup> （約7,887坪）
	延床面積	10,750 m <sup>2</sup> （約3,252坪）
	構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
	建設年度	平成9年度～平成11年度
	駐車場台数	523台
	施設	1階 展示場、ホール、会議室 2階 研修室、会議室 【1・2階は、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ西館）として経済商工観光部所管部分】 3階～5階 賃貸オフィス、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

平成29年4月12日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。



令和2年度は、スリーエム仙台港パークへの移動販売車の出店支援などに取り組みました。

③ 仙台港周辺地域土地活用事業

仙台港周辺地域の土地を商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っています。

貸付用途別	貸付面積	備考
商業施設	122,169.02㎡	三井アウトレットパーク 仙台港及びカインズ仙台港店に貸付
流通業務施設	19,778.96㎡	流通事業者等9者に貸付
計	141,947.98㎡	



## ④ 他会計に対する長期貸付事業

令和3年3月31日現在

貸付先別会計	貸付額	償還済額	償還残額
水道用水供給事業会計	3,007,000,000円	3,007,000,000円	0円
大崎広域水道事業	907,000,000円	907,000,000円	0円
仙南・仙塩広域水道事業	2,100,000,000円	2,100,000,000円	0円
工業用水供給事業会計	5,395,200,000円	5,395,200,000円	0円
仙塩工業用水道事業	2,005,700,000円	2,005,700,000円	0円
仙台圏工業用水道事業	231,000,000円	231,000,000円	0円
仙台北部工業用水道事業	2,266,500,000円	2,266,500,000円	0円
仙南工業用水道事業	892,000,000円	892,000,000円	0円
流域下水道事業会計	1,210,000,000円	1,210,000,000円	0円
仙塩流域下水道事業	172,344,000円	172,344,000円	0円
阿武隈川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
鳴瀬川流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
吉田川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流東部流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
迫川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
計	9,612,200,000円	9,612,200,000円	0円



#### 4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域的かつ効果的に汚水を処理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

##### (1) 仙塩流域下水道事業

###### ① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区3市2町（仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和45年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和47年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和53年に一部供用を開始しました。現在の管渠は26.2kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は313.6千人、下水道処理人口普及率は99.3%に達しています。

###### ● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	39,575,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	108,425 m <sup>3</sup>

###### ● 仙塩流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	9,008.8ha	8,453.1ha	7,481.1ha
処理人口	308,531人	321,206人	313,644人
処理能力	222,200 m <sup>3</sup> /日	222,000 m <sup>3</sup> /日	222,000 m <sup>3</sup> /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,246m	26,246m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

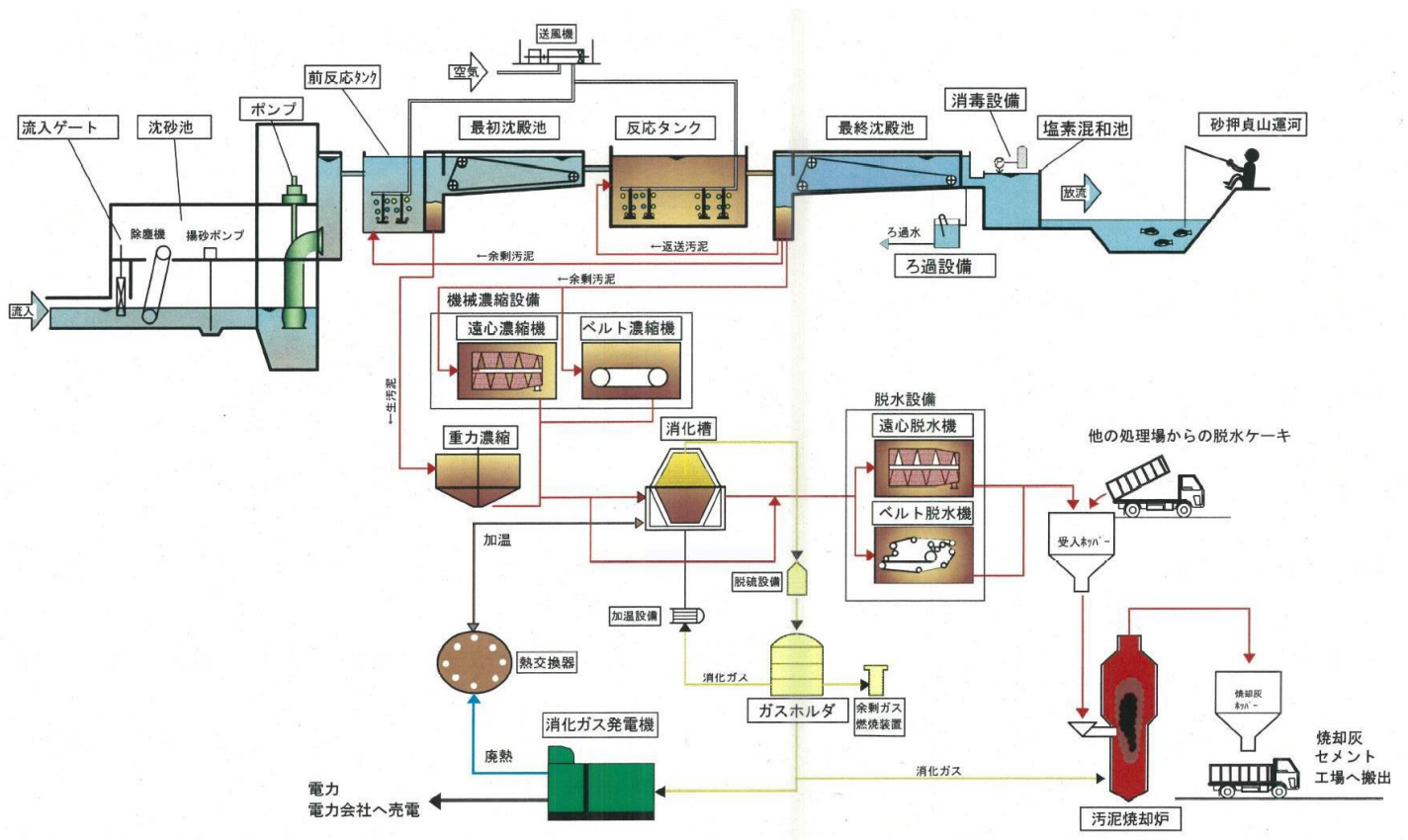
###### ● 関連市町日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	53,330	七ヶ浜町	5,502
塩竈市	20,909	利府町	9,712
多賀城市	19,752	合計	109,205

###### ● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	令和元年9月3日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	45,279,137
	起 債	11,320,600
	他会計繰入金	1,443,526
	市町分担金	12,679,362
	そ の 他	0
	合 計	70,722,625

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	264.1 m <sup>3</sup> (2 池)
	前反応タンク	2,268 m <sup>3</sup> ×2 系
		900 m <sup>3</sup> ×2 系
	最初沈殿池	13,962 m <sup>3</sup>
	反応タンク	64,127 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	29,183 m <sup>3</sup>
	消毒棟	1 棟
	塩素混和池	3,480 m <sup>3</sup>
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	汚泥濃縮機棟	1 棟
	汚泥消化タンク	5 槽
	ガスタンク	2 台
	汚泥脱水機	3 台
	汚泥焼却施設	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

④ 経営の状況

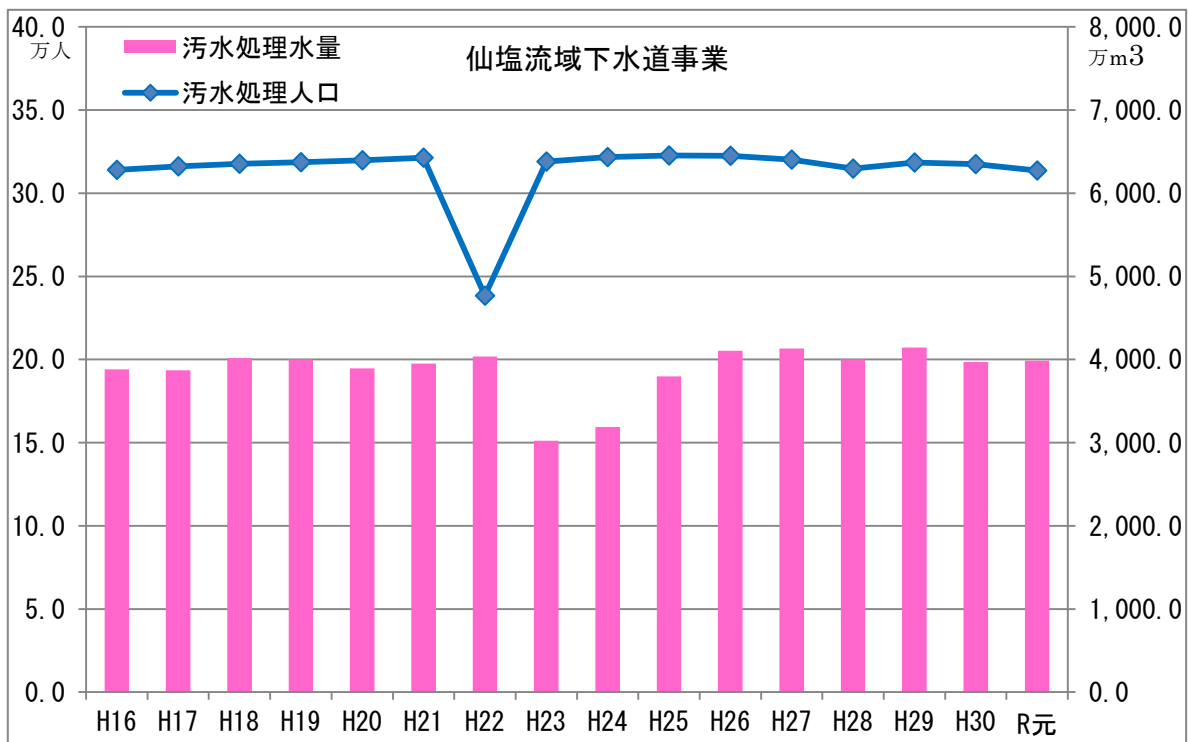
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処理人口 人	315,250	317,556	313,644	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	40,922,494	40,493,171	39,873,639	40,851,879	39,575,000
D 有効水量 m <sup>3</sup> /年	40,922,494	40,493,171	39,873,639	40,851,879	39,575,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	110,939	110,941	109,243	119,923	108,425
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
G 管渠費 千円		-	11,220	27,184	24,602
H ポンプ場費 千円		-	88,250	82,329	100,842
I 処理場費 千円		-	1,447,696	1,737,952	1,392,434

※ 消費税含まず。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負担金 千円	1,538,686	1,522,543	1,586,971	1,625,905	1,575,085
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	38.0	38.0	39.8	39.8	39.8
汚水処理原価 円/m <sup>3</sup>	38.0	38.0			
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	37.6	37.6			
汚水処理原価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	0.4	0.4			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

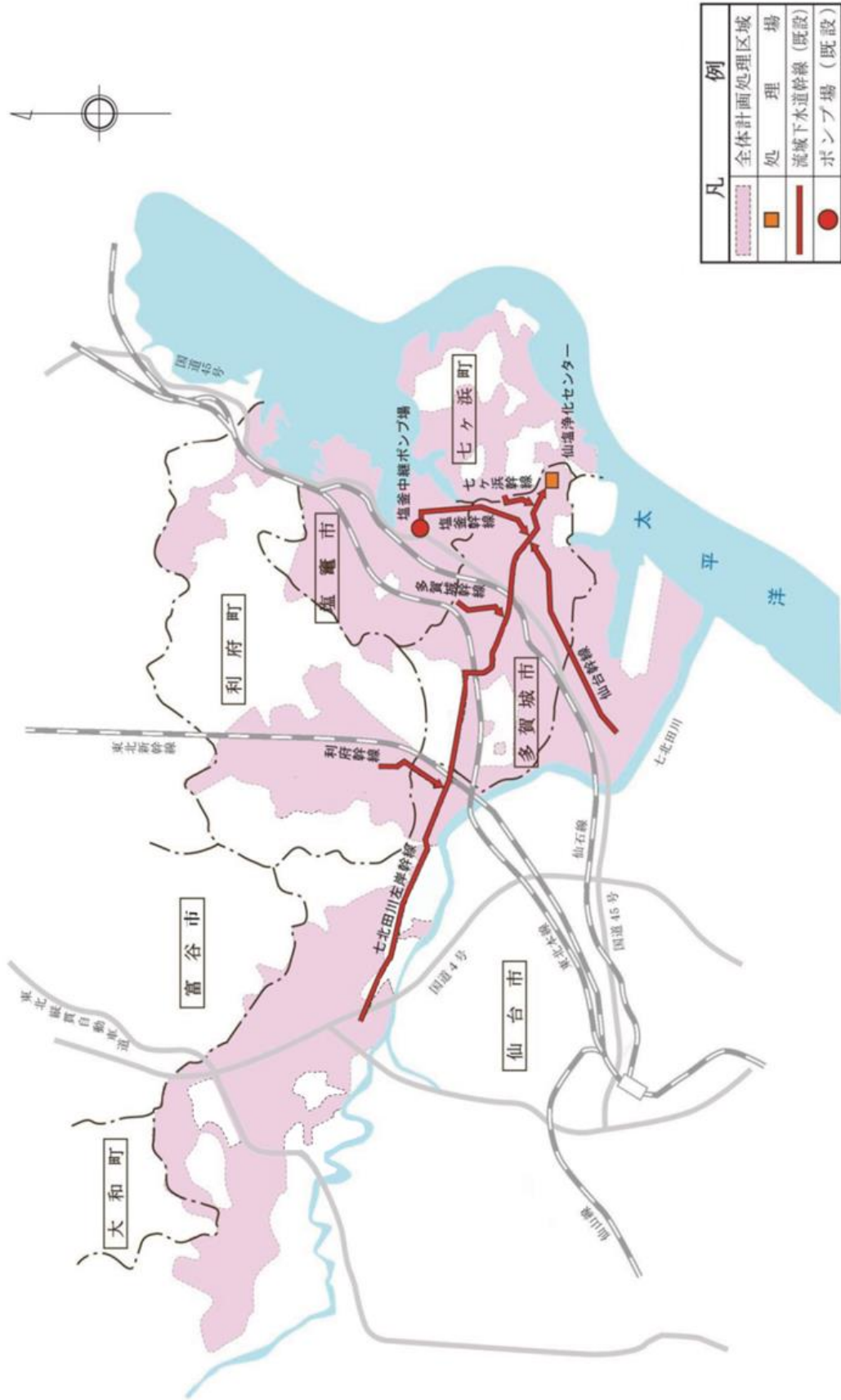
● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	1,586,971	1,655,059	1,575,085
	うち料金収入 千円	-	-	1,586,971	1,655,059	1,575,085
	営業外収益 千円	-	-	2,404,860	2,227,090	2,095,297
	特別収益 千円	-	-	0	25,003	0
	計 千円	-	-	3,991,831	3,907,152	3,670,382
支出	営業費用 千円	-	-	3,748,851	3,955,884	3,518,290
	営業外費用 千円	-	-	68,758	105,286	105,771
	特別損失 千円	-	-	9,628	71,908	26,556
	総費用(除受託) 千円	-	-	3,827,237	4,133,678	3,651,317
	計 千円	-	-	3,827,237	4,133,678	3,651,317
当年度純利益 千円		-	-	164,594	△226,526	19,065

※ 消費税を含む。R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

仙塩流域下水道一般図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

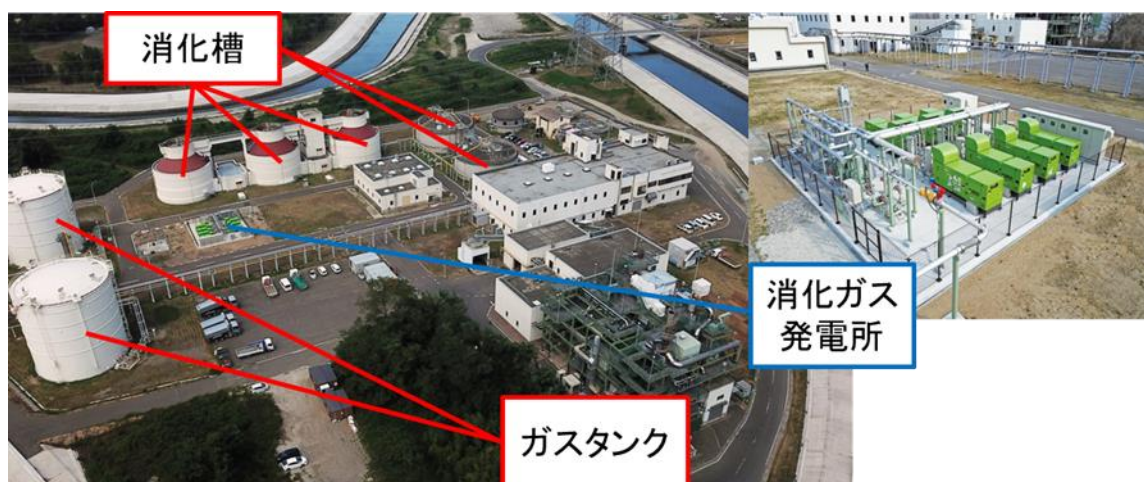
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する消化ガス（メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス）のうち、約70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していたが、残る30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気を固定価格買取制度（FIT）を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所 (民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内 (多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW (50 kW×7 台)
- ・発電電力量 約 200 万 kWh/年 (一般家庭約 440 世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 560,920 円
- ・消化ガス売却収入 約 4 億円 (20 年間)
- ・工事着工 平成 29 年 6 月 1 日
- ・稼働開始 平成 30 年 4 月 1 日
- ・事業期間 発電開始から 20 年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町（仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亘理町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。現在の管渠は89.9kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は306.6千人、下水道処理人口普及率は81.6%に達しています。

● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	31,859,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	87,285 m <sup>3</sup>

● 阿武隈川下流流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	126,169ha		
処理面積	11,121.8ha	10,237.8ha	8,856.1ha
処理人口	291,312人	297,494人	306,667人
処理能力	125,000 m <sup>3</sup> /日	125,000 m <sup>3</sup> /日	125,000 m <sup>3</sup> /日
系列数	5	5	4.5
管渠延長	106,865m	90,710m	89,971m
ポンプ場	7箇所	6箇所	6箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

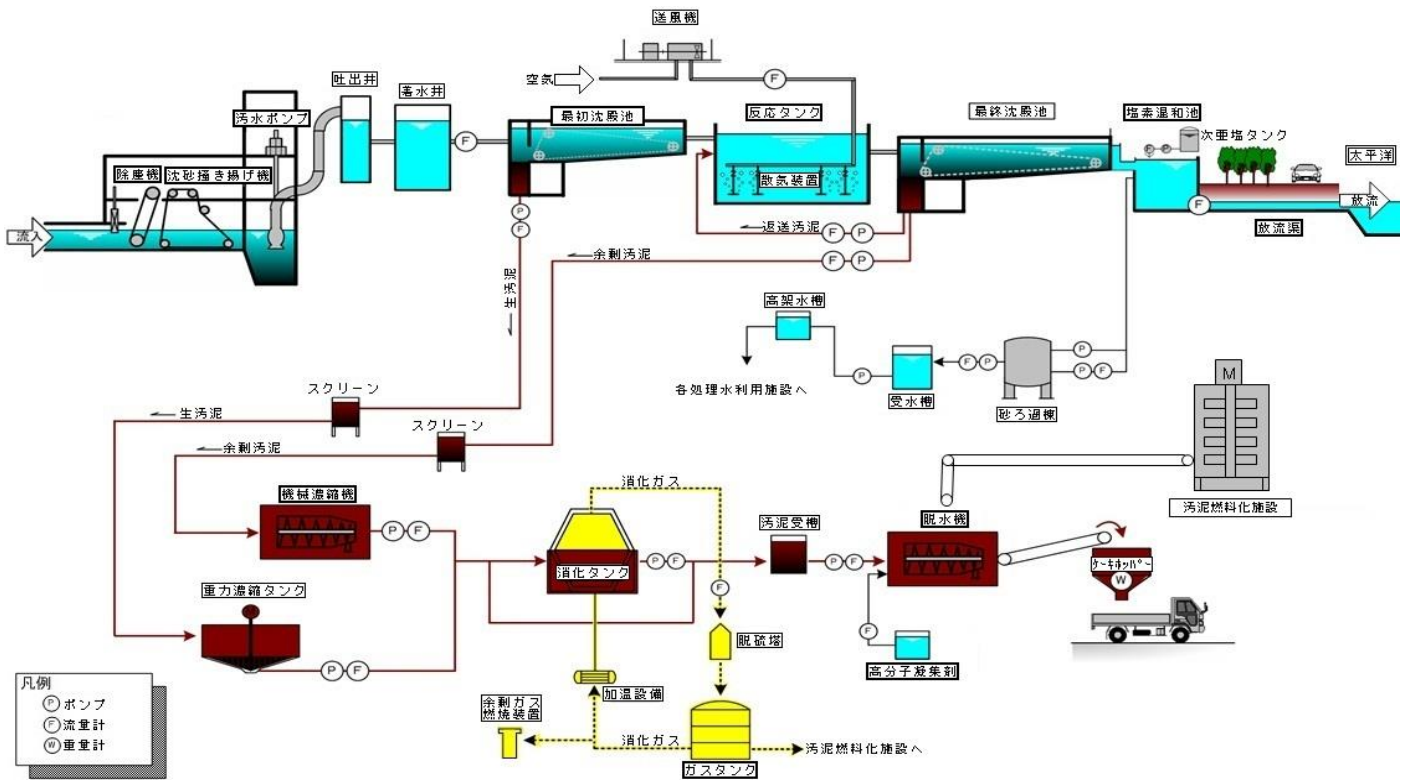
市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	18,511	大河原町	3,267
白石市	8,001	村田町	2,360
名取市	19,195	柴田町	15,572
角田市	4,130	丸森町	886
岩沼市	11,778	亘理町	6,727
蔵王町	2,727	合計	93,154

● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	昭和49年度
供用開始年月日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日



■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	59,589,523
	起債	16,416,902
	他会計繰入金	3,267,603
	市町分担金	19,588,081
	その他	0
	合計	98,862,109

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	第2水処理電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	2 池
	最初沈殿池	11,546 m <sup>3</sup>
	反応タンク	42,842 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	21,179 m <sup>3</sup>
	塩素混和池	1,362 m <sup>3</sup>
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥燃料化施設	1 基
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

④ 経営の状況

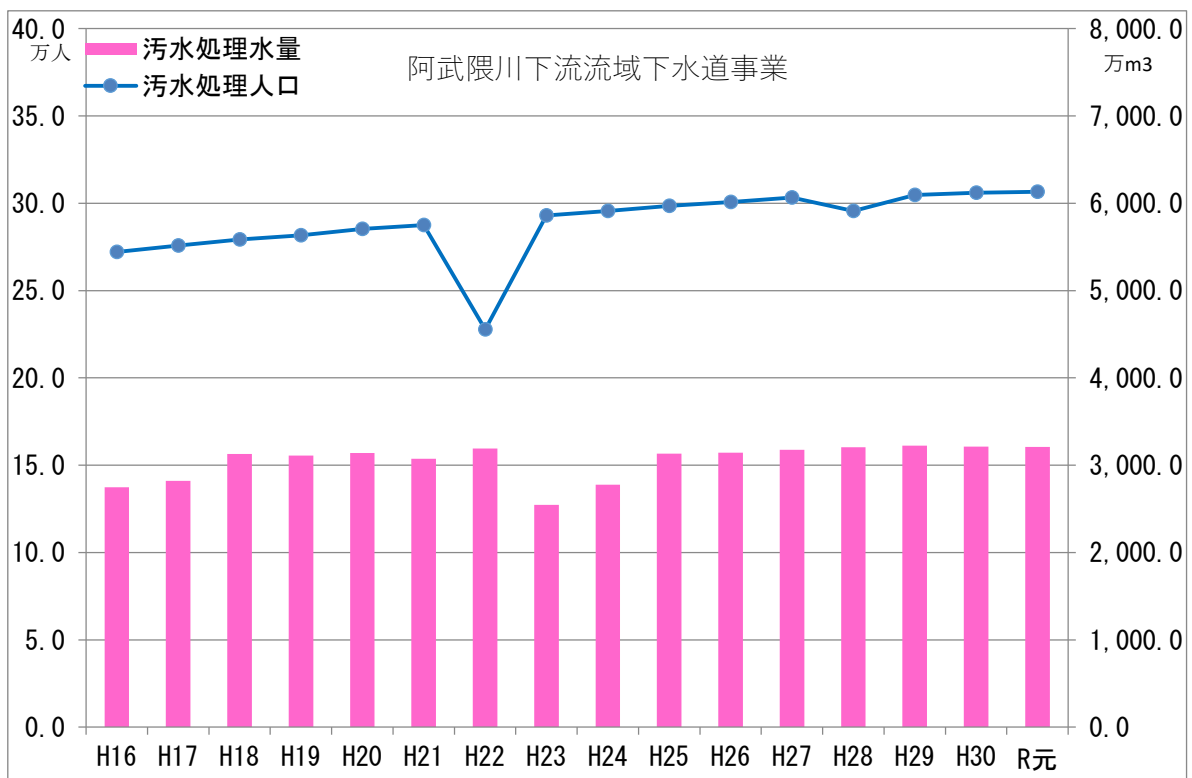
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処理人口 人	304,816	305,976	306,667	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	32,244,164	32,154,896	32,081,835	32,717,309	31,859,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	32,244,164	32,154,896	32,081,835	32,717,309	31,859,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	88,341	88,096	87,895	89,636	87,285
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管渠費 千円	—	—	20,825	23,867	22,044
H ポンプ場費 千円	—	—	157,821	186,295	163,031
I 処理場費 千円	—	—	1,258,950	1,394,132	1,344,967

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負担金 千円	1,509,027	1,504,849	1,555,969	1,586,789	1,545,162
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	47.4	47.4	48.5	48.5	48.5
汚水処理原価 円/m <sup>3</sup>	47.4	47.4			
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	46.8	46.8			
汚水処理原価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	0.6	0.6			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

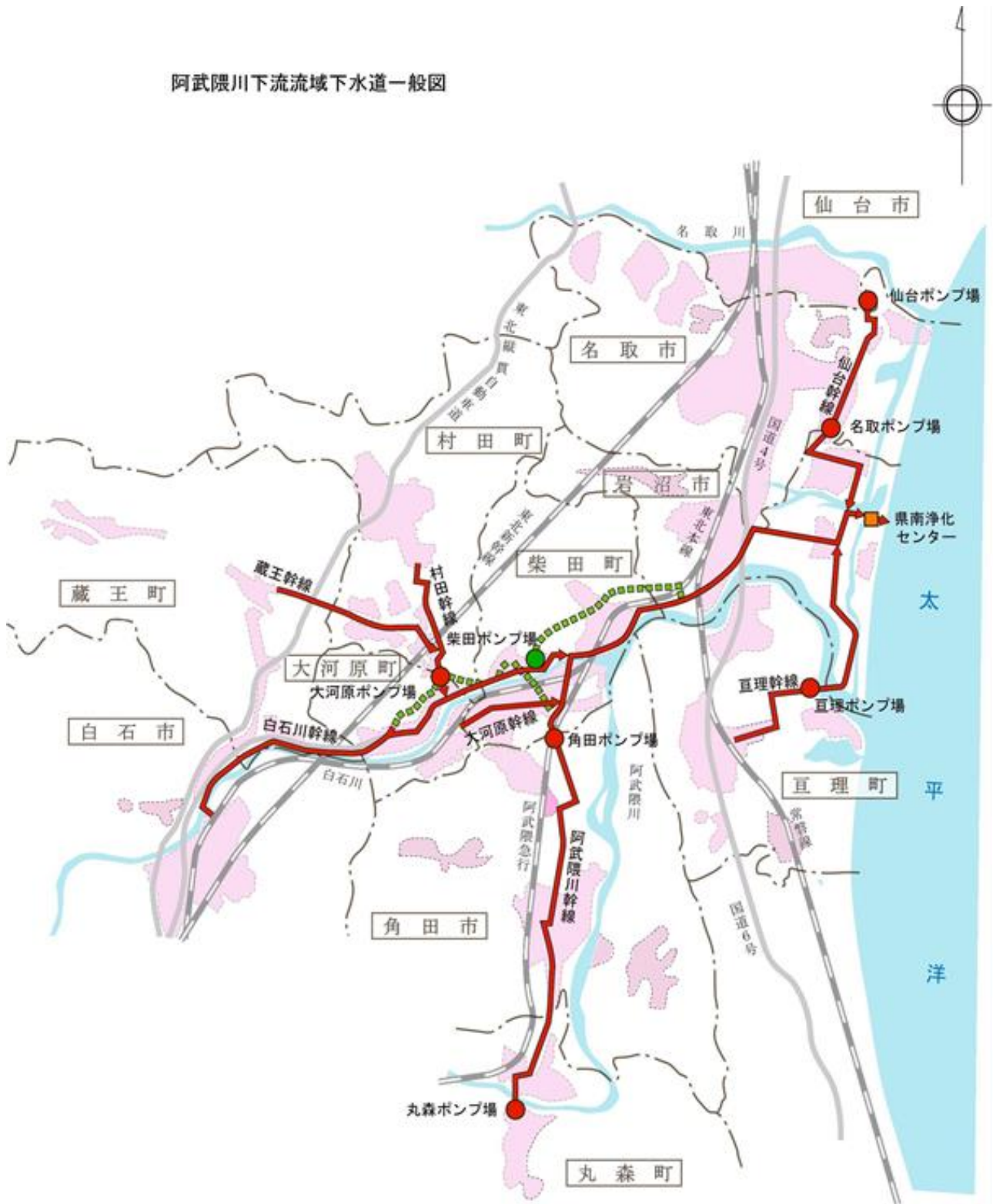
● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	1,555,969	1,587,177	1,545,161
	うち料金収入 千円	-	-	1,555,969	1,587,177	1,545,161
	営業外収益 千円	-	-	3,282,732	3,077,360	3,020,641
	特別収益 千円	-	-	0	28,824	0
	計 千円	-	-	4,838,701	4,693,361	4,565,802
支 出	営業費用 千円	-	-	4,434,882	4,571,771	4,438,135
	営業外費用 千円	-	-	77,135	91,592	98,253
	特別損失 千円	-	-	7,807	74,736	11,801
	総費用(除受託) 千円	-	-	4,519,824	4,738,799	4,548,989
	計 千円	-	-	4,519,824	4,738,799	4,548,989
当年度純利益 千円		-	-	318,877	△45,438	16,813

※ 消費税を含む。R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

阿武隈川下流域下水道一般図



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #f8d7da; border: 1px solid #c6c8ca;"></span>	全体計画処理区域
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #ffc107;"></span>	処 理 場
<span style="display:inline-block; width:20px; border-bottom: 2px solid red;"></span>	流域下水道幹線 (既設)
<span style="display:inline-block; width:20px; border-bottom: 2px dashed green;"></span>	流域下水道幹線 (計画)
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #dc3545; border-radius: 50%;"></span>	ポンプ場 (既設)
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #28a745; border-radius: 50%;"></span>	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1市1町（大崎市・美里町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和56年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は21.1kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は27千人、下水道処理人口普及率は54.0%に達しています。

● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	2,501,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	6,852 m <sup>3</sup>

● 鳴瀬川流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	16,432ha		
処理面積	1,569.93ha	1,388.49ha	1,062.3ha
処理人口	29,650人	29,650人	27,087人
処理能力	11,100 m <sup>3</sup> /日	11,100 m <sup>3</sup> /日	8,800 m <sup>3</sup> /日
系列数	6	6	5
管渠延長	21,130m	21,130m	21,158m
ポンプ場	5箇所	5箇所	5箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

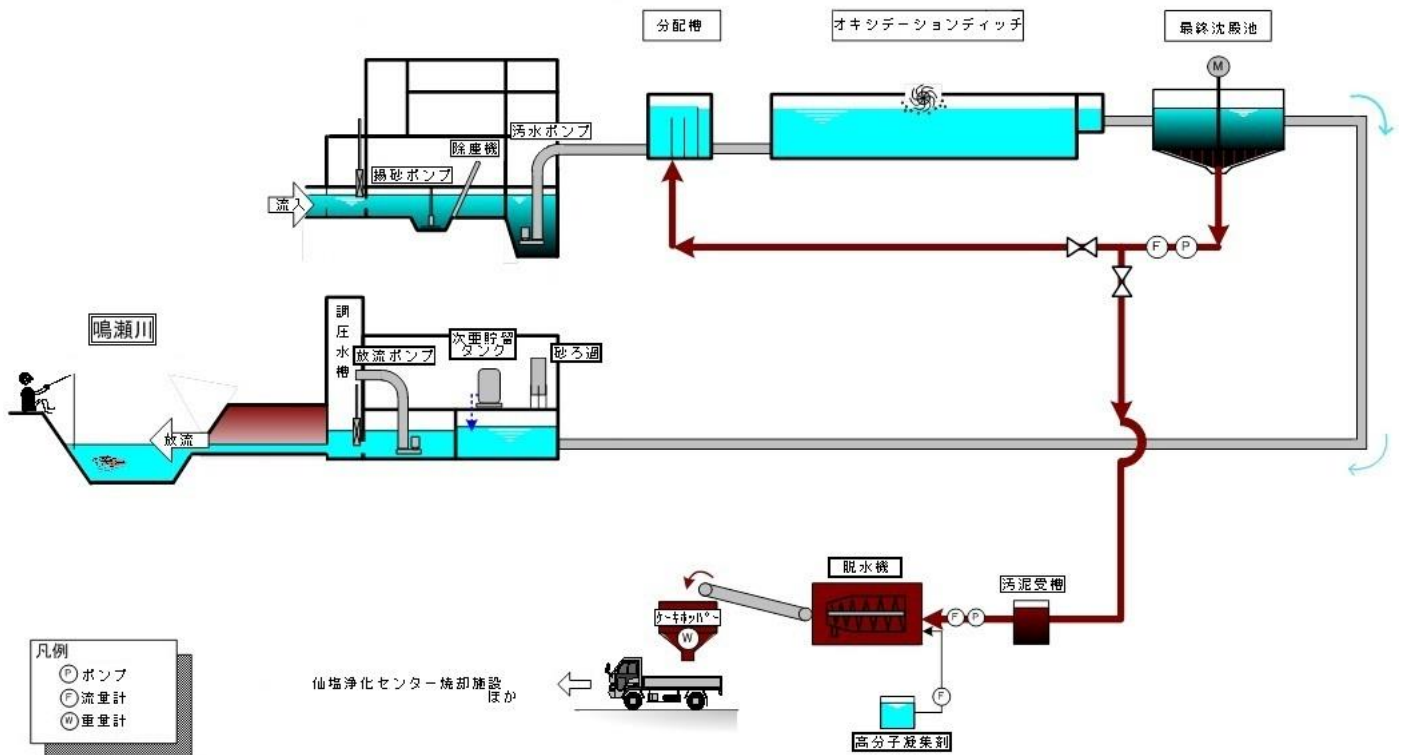
● 関連市町日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

市町村名	汚水量
大崎市	4,674
美里町	1,998
合計	6,672

● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	昭和56年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	昭和57年3月2日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	10,585,509
	起 債	2,652,400
	他会計繰入金	565,215
	市町分担金	5,494,857
	そ の 他	0
	合 計	19,297,981

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッ チ	8,788 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	8,800 m <sup>3</sup>
	塩素注入施設	1 基
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場 松山第 2 中継ポンプ場 鹿島台中継ポンプ場 小牛田ポンプ場 三本木ポンプ場	



④ 経営の状況

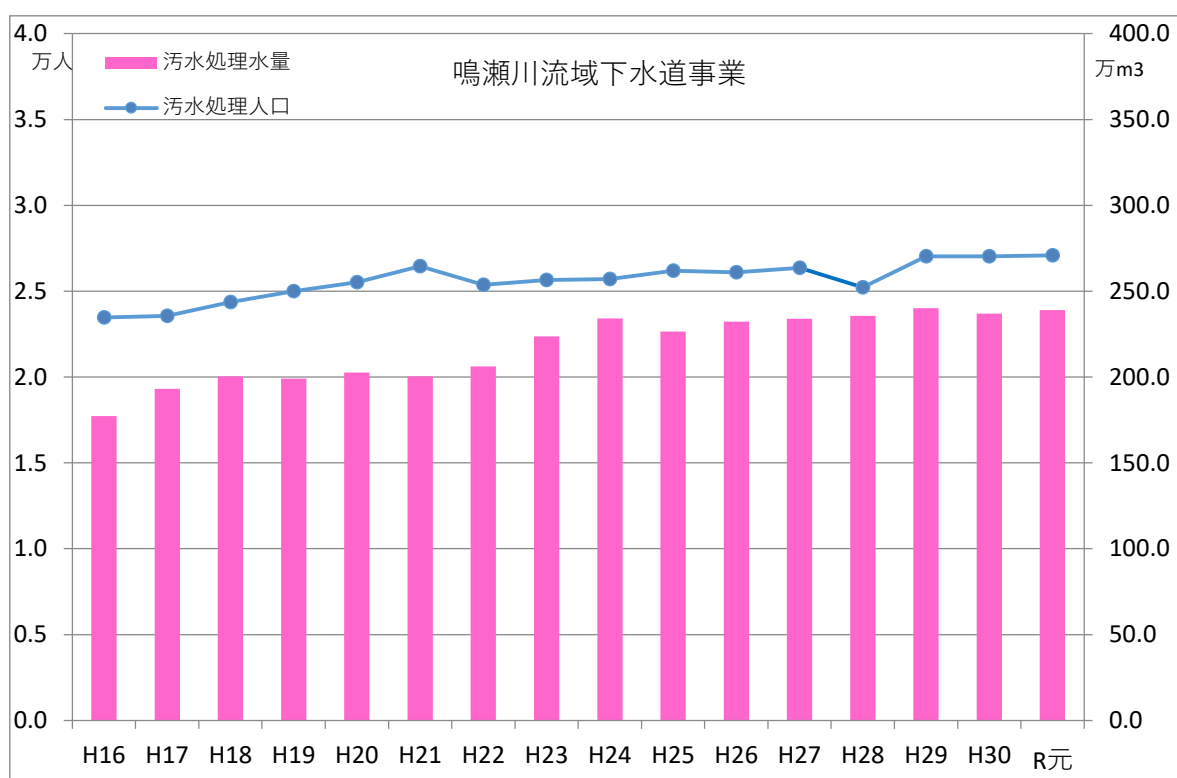
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処理人口 人	27,026	27,036	27,087	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	2,365,724	2,390,616	2,417,143	2,449,683	2,501,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	2,365,724	2,390,616	2,417,143	2,449,683	2,501,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	6,482	6,550	6,622	6,711	6,852
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管渠費 千円	—	—	3,710	11,120	14,238
H ポンプ場費 千円	—	—	33,211	40,564	41,274
I 処理場費 千円	—	—	162,260	167,094	198,917

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負 担 金 千円	238,172	241,691	196,030	198,669	202,831
負 担 金 単 価 円/m <sup>3</sup>	101.9	101.9	81.1	81.1	81.1
汚 水 処 理 原 価 円/m <sup>3</sup>	101.9	101.9			
汚 水 処 理 原 価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	101.1	101.1			
汚 水 処 理 原 価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	0.8	0.8			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

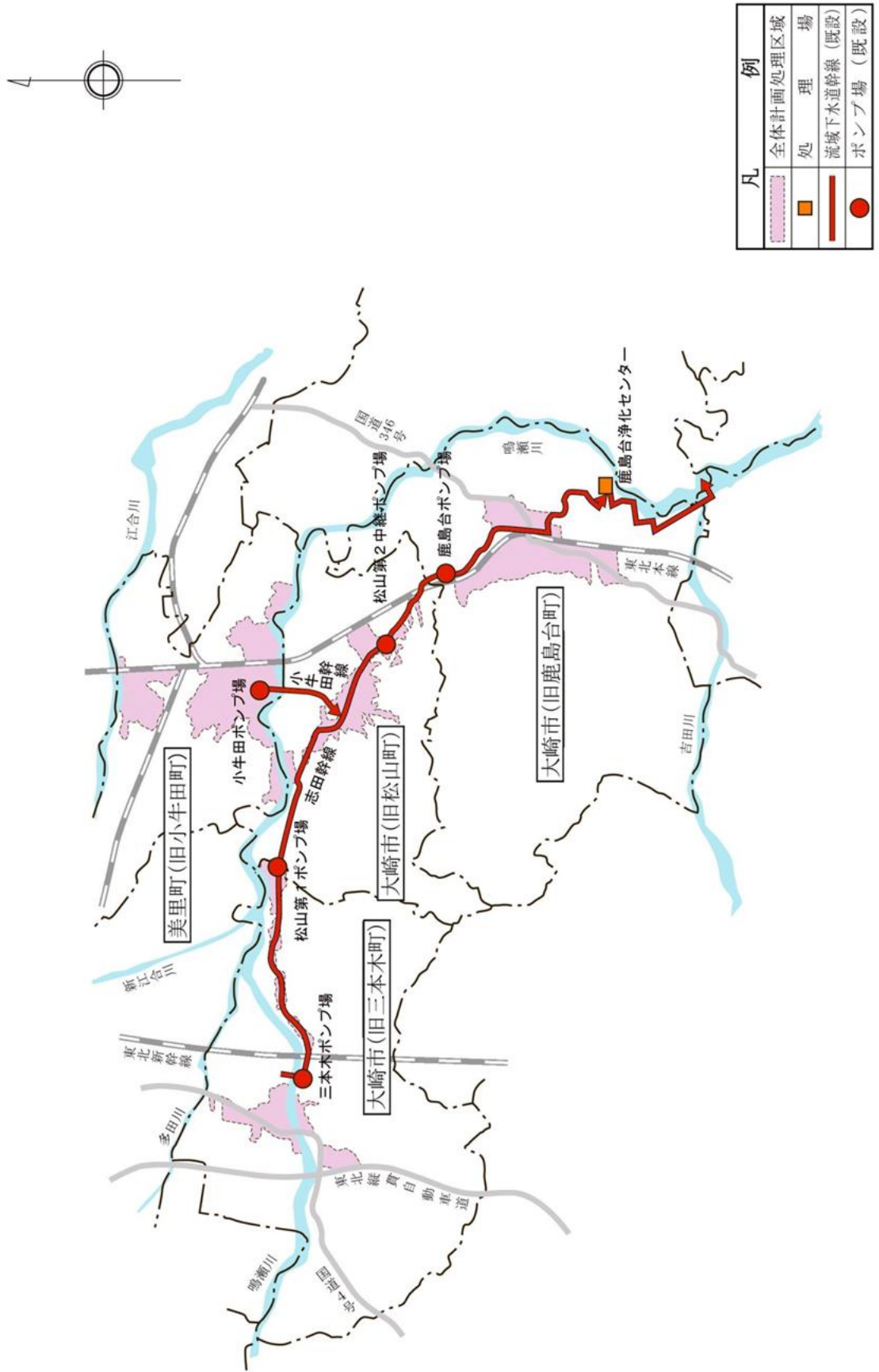
● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	196,030	200,075	202,831
	うち料金収入 千円	-	-	196,030	200,075	202,831
	営業外収益 千円	-	-	559,225	493,330	482,665
	特別収益 千円	-	-	0	3,859	0
	計 千円	-	-	755,255	697,264	685,496
支 出	営業費用 千円	-	-	626,981	602,217	637,719
	営業外費用 千円	-	-	15,970	45,672	41,470
	特別損失 千円	-	-	560	37,728	3,168
	総費用(除受託) 千円	-	-	643,511	685,917	682,657
	計 千円	-	-	643,511	685,917	682,657
当年度純利益 千円		-	-	111,744	11,347	2,839

※ 消費税を含む。R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村（富谷市・大和町・大郷町・大衡村）から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は28.1kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は79.8千人、下水道処理人口普及率は86.8%に達しています。

● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	10,917,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	29,910 m <sup>3</sup>

● 吉田川流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,365.4ha	3,349.9ha	3,035.5ha
処理人口	85,635人	81,788人	79,860人
処理能力	55,400 m <sup>3</sup> /日	54,800 m <sup>3</sup> /日	41,825 m <sup>3</sup> /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,186m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

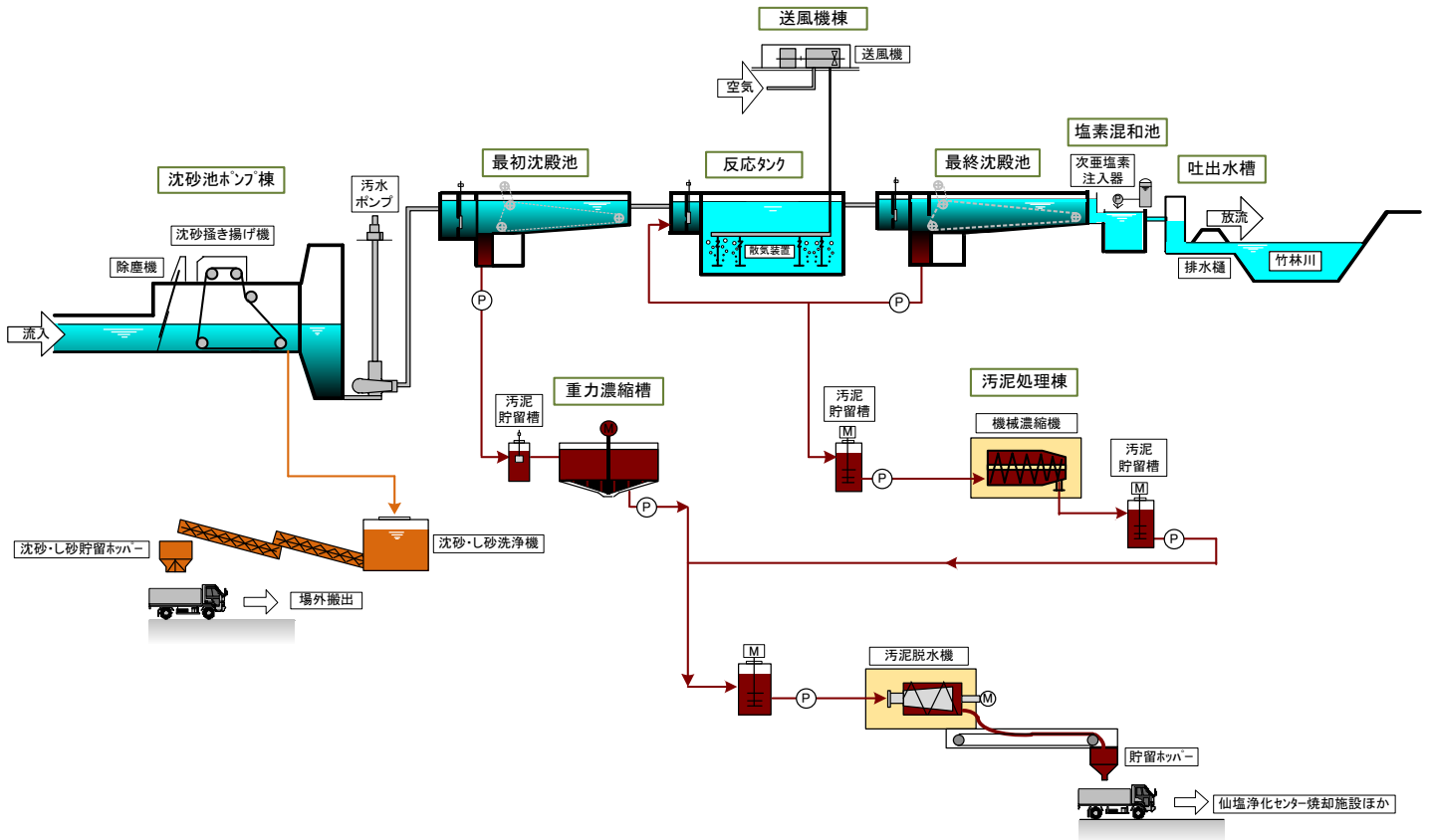
● 関連市町日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	20,219	大衡村	2,507
大和町	6,787	合計	30,627
大郷町	1,114		

● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	平成31年3月20日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	19,034,548
	起 債	3,624,112
	他会計繰入金	2,540,510
	市町分担金	5,775,297
	そ の 他	0
	合 計	30,974,467

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	26.68 m <sup>3</sup> (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m <sup>3</sup>
	反応タンク	14,154 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	4,914 m <sup>3</sup>
	塩素混和池	574 m <sup>3</sup>
汚泥処理施設	重力濃縮施設	3 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	

④ 経営の状況

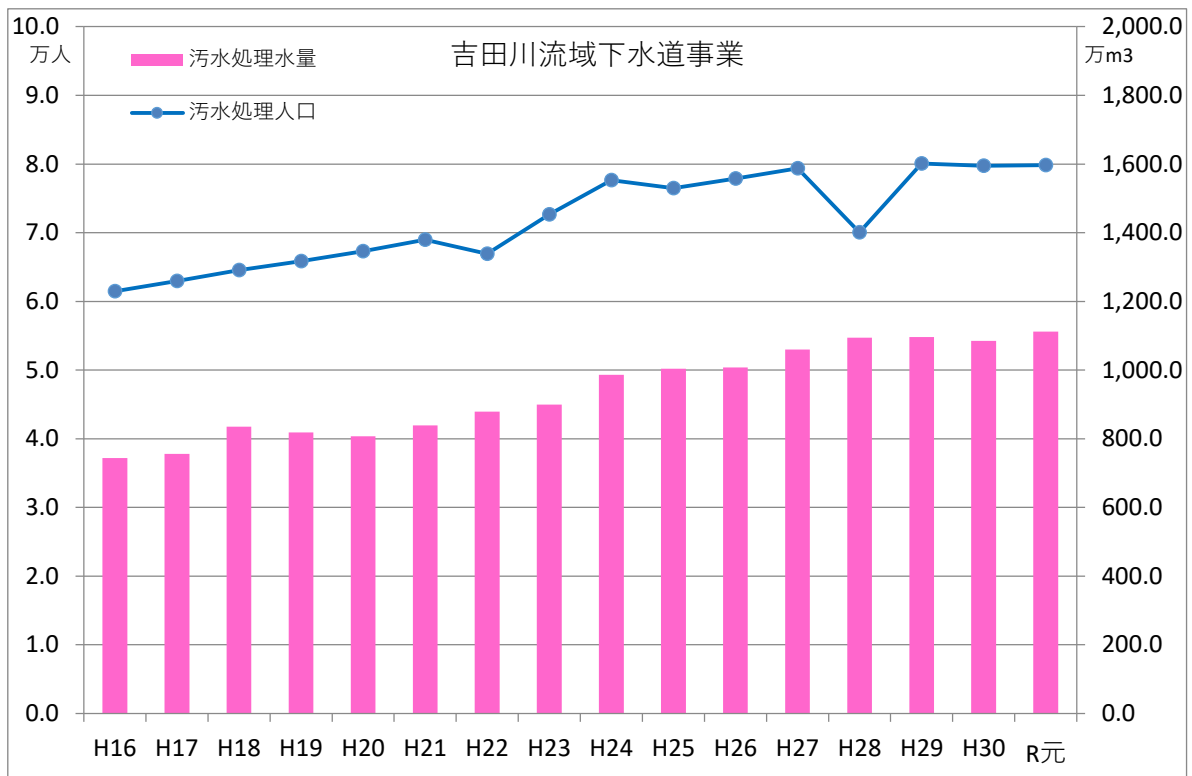
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処理人口 人	80,066	79,738	79,860	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	10,835,712	10,906,349	11,115,675	11,249,495	10,917,000
D 有効水量 m <sup>3</sup> /年	10,835,712	10,906,349	11,115,675	11,249,495	10,917,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	29,687	29,881	30,454	30,821	29,910
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管渠費 千円	—	—	2,922	17,360	20,575
H ポンプ場費 千円	—	—	43,831	50,568	40,348
I 処理場費 千円	—	—	537,405	591,043	554,850

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負 担 金 千円	584,045	587,852	531,329	537,726	521,833
負 担 金 単 価 円/m <sup>3</sup>	54.4	54.4	47.8	47.8	47.8
汚 水 処 理 原 価 円/m <sup>3</sup>	54.4	54.4			
汚 水 処 理 原 価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	53.9	53.9			
汚 水 処 理 原 価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	0.5	0.5			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

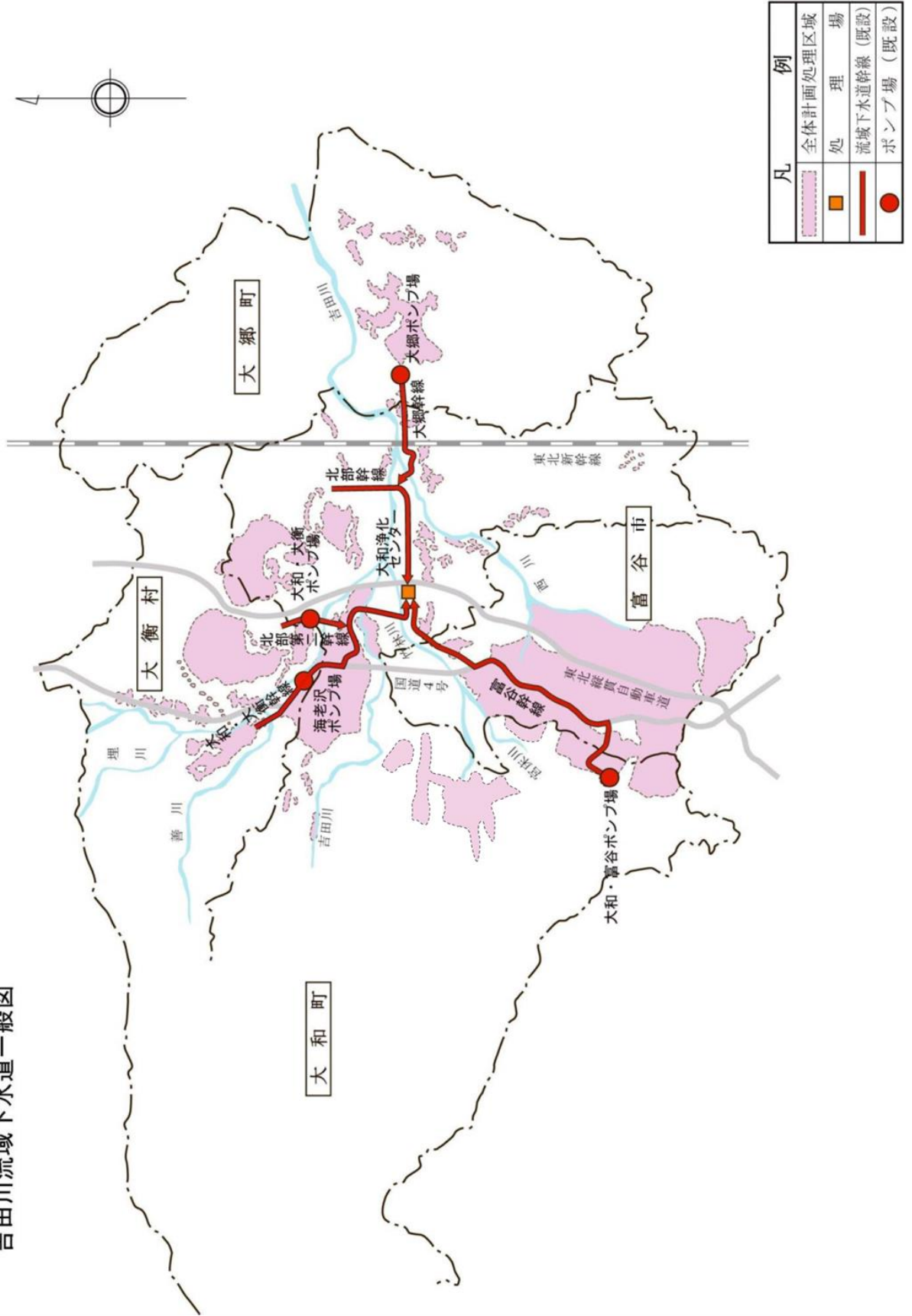
年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	531,329	542,587	521,832
	うち料金収入 千円	-	-	531,329	542,587	521,832
	営業外収益 千円	-	-	909,740	886,111	809,017
	特別収益 千円	-	-	0	8,210	0
	計 千円	-	-	1,441,069	1,436,908	1,330,849
支 出	営業費用 千円	-	-	1,299,545	1,383,339	1,280,866
	営業外費用 千円	-	-	26,307	46,049	40,895
	特別損失 千円	-	-	2,758	22,646	0
	総費用(除受託) 千円	-	-	1,328,610	1,452,634	1,322,361
	計 千円	-	-	1,328,610	1,452,634	1,322,361
当年度純利益 千円		-	-	112,459	△15,726	8,488

※ 消費税を含む。R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



吉田川流域下水道一般図



(5) 北上川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市（石巻市・東松島市）から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は27.5kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は92.5千人、下水道処理人口普及率は69.5%となっています。

● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	7,003,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	19,186 m <sup>3</sup>

● 流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,560.3ha	2,943.3ha	2,346.3ha
処理人口	104,600人	104,490人	92,548人
処理能力	48,500 m <sup>3</sup> /日	38,800 m <sup>3</sup> /日	38,800 m <sup>3</sup> /日
系列数	3	2	2
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	令和17年度	令和2年度	-

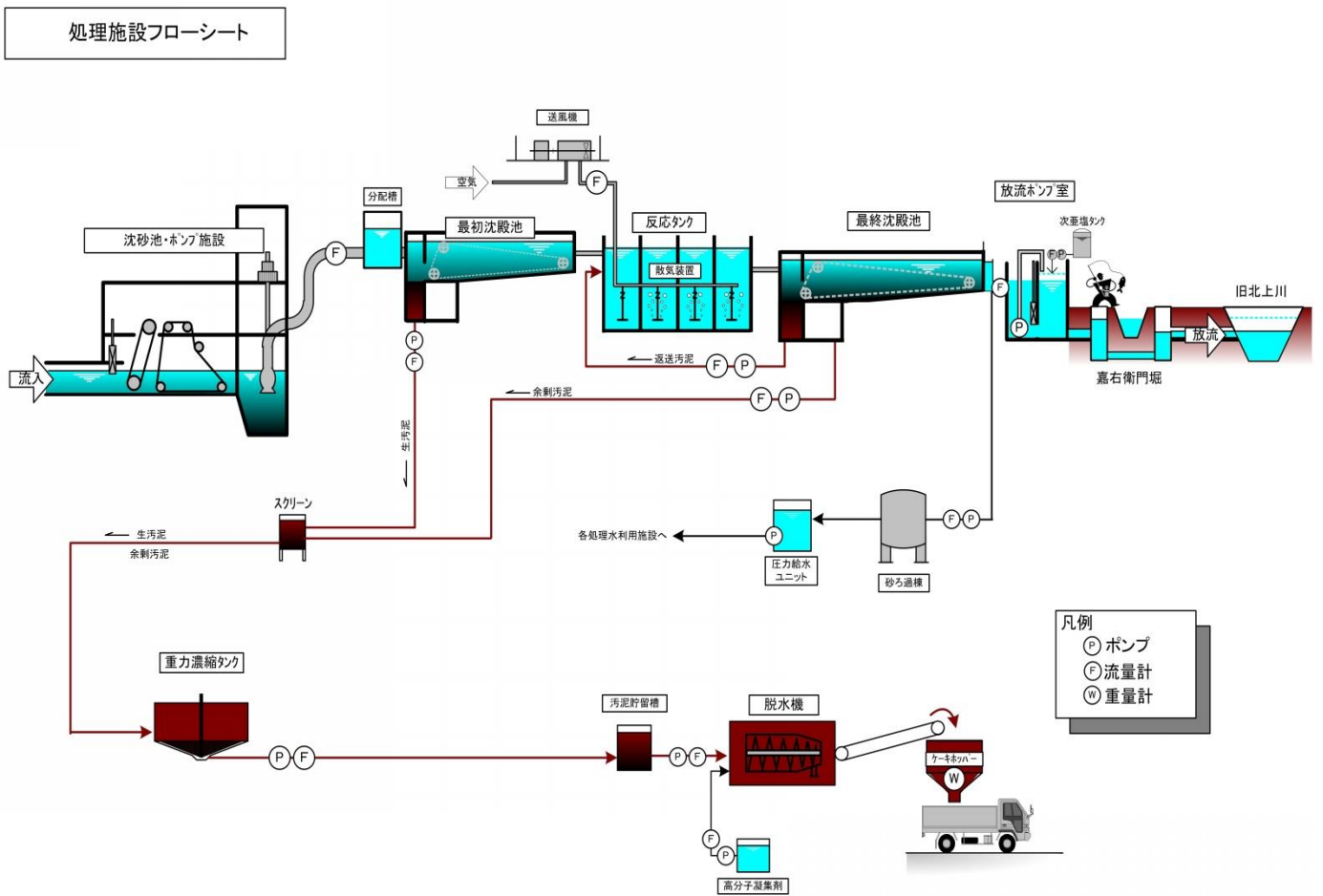
● 関連市町日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

市町村名	汚水量
石巻市	13,179
東松島市	8,056
合計	21,235

● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	平成30年11月16日
認可完了予定年月日	令和3年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	19,851,410
	起 債	6,845,019
	他会計繰入金	1,101,968
	市町分担金	7,935,419
	そ の 他	0
	合 計	35,733,816

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館	1 棟
	沈砂池ポンプ棟 (送風機, 自家発電機)	1 棟
	沈砂池	巾 1.4m×長 11.5m×4 池
	最初沈殿池	1,760 m <sup>3</sup>
	反応タンク	9,945 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	4,617 m <sup>3</sup>
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	重力濃縮槽	2 槽
	重力濃縮機棟	1 棟
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	河南ポンプ場	
	鳴瀬ポンプ場	
	矢本ポンプ場	

④ 経営の状況

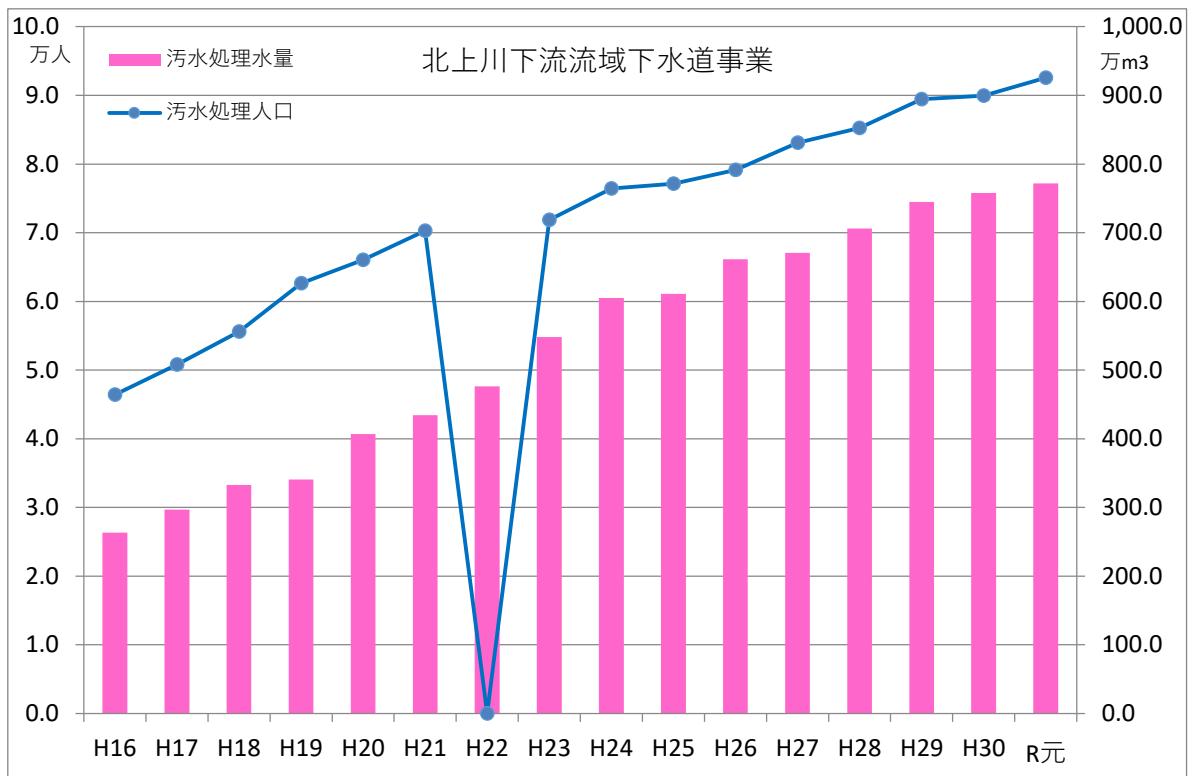
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	29,100	38,800	38,800	38,800	38,800
B 処理人口 人	86,453	89,970	92,548	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	7,373,079	7,574,069	7,720,018	7,928,325	7,003,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	7,373,079	7,574,069	7,720,018	7,928,325	7,003,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	20,200	20,751	21,151	21,721	19,186
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	29,100	38,800	38,800	38,800	38,800
G 管渠費 千円	—	—	5,250	8,576	14,822
H ポンプ場費 千円	—	—	10,447	21,304	10,807
I 処理場費 千円	—	—	493,510	528,012	531,773

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負担金 千円	472,614	485,497	619,917	636,644	562,341
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	65.2	65.2	80.3	80.3	80.3
汚水処理原価 円/m <sup>3</sup>	65.2	65.2			
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	64.1	64.1			
汚水処理原価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	1.1	1.1			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

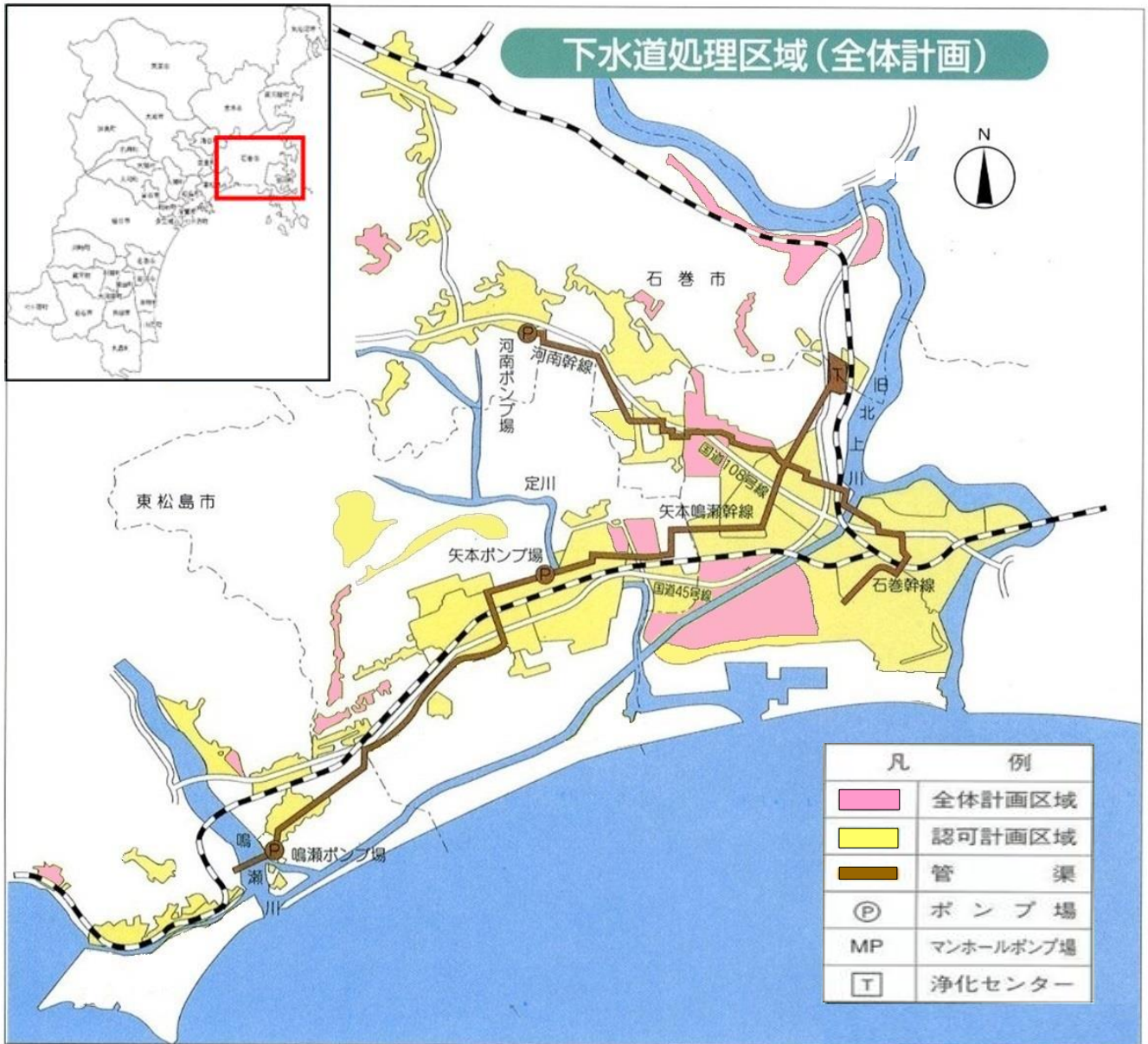
※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	619,917	635,838	562,340
	うち料金収入 千円	-	-	619,917	635,838	562,340
	営業外収益 千円	-	-	973,084	991,654	964,008
	特別収益 千円	-	-	0	13,882	0
	計 千円	-	-	1,593,001	1,641,374	1,526,348
支 出	営業費用 千円	-	-	1,257,438	1,302,946	1,281,760
	営業外費用 千円	-	-	74,501	87,847	79,629
	特別損失 千円	-	-	5,952	109,987	0
	総費用(除受託) 千円	-	-	1,337,890	1,501,180	1,361,789
	計 千円	-	-	1,337,890	1,501,180	1,361,789
当年度純利益 千円		-	-	255,111	140,194	164,559

※ 消費税を含む。R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町（石巻市・女川町）から流入する汚水を処理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用（旧石巻市公共下水道分）を開始しました。現在の管渠は43.4kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は43.1千人、下水道処理人口普及率は84.2%に達しています。

● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,308,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	11,803 m <sup>3</sup>

● 北上川下流東部流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,855.3ha	1,744.1ha	1,418.7ha
処理人口	38,100人	43,510人	43,107人
処理能力	25,300 m <sup>3</sup> /日	25,300 m <sup>3</sup> /日	25,300 m <sup>3</sup> /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,530m	43,530m	43,472m
ポンプ場	18箇所	18箇所	17箇所
計画目標年度	令和17年度	令和2年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

市町村名	汚水量
石巻市	10,509
女川町	1,400
合計	11,909

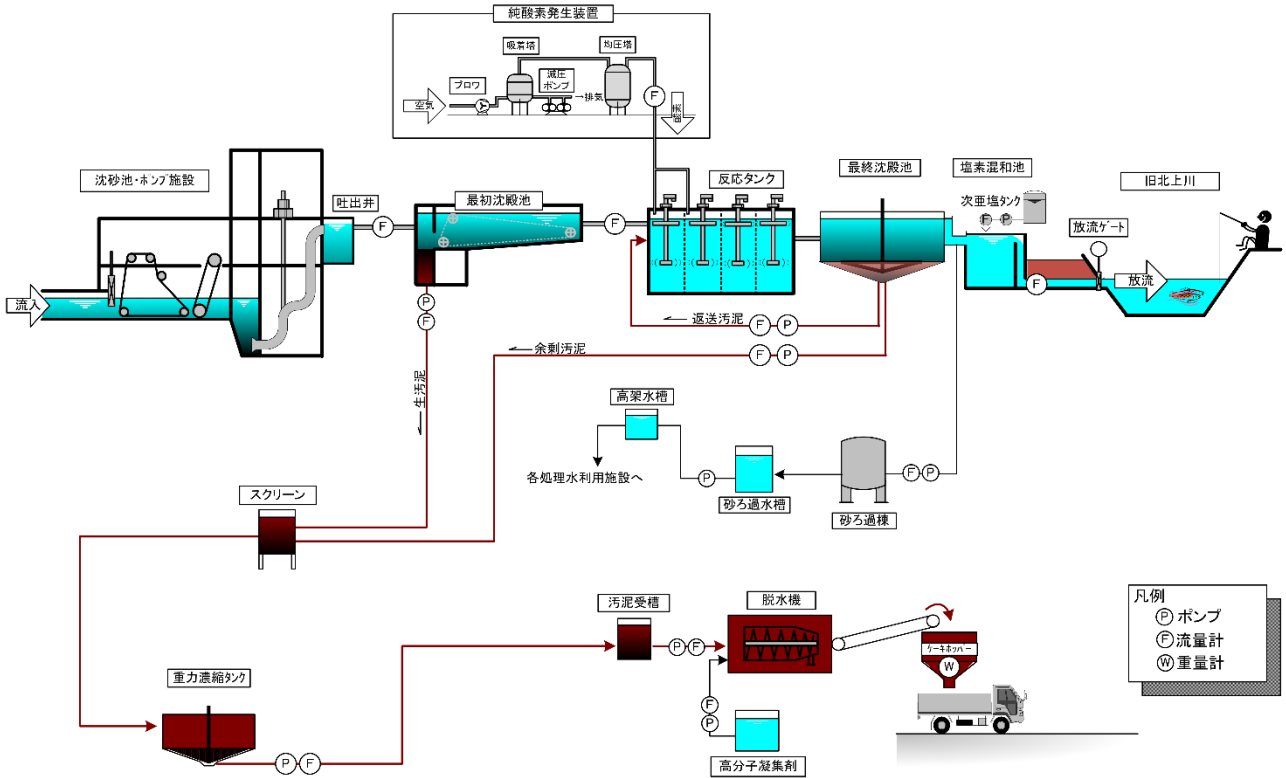
● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	平成30年11月16日
認可完了予定年月日	令和3年3月31日



■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	11,386,359
	起 債	4,787,087
	他会計繰入金	319,562
	市町分担金	5,120,824
	そ の 他	0
	合 計	21,613,832

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟 (自家発電機)	1 棟
	ポンプ棟	1 棟
	水処理棟	1 棟
	最初沈殿池	2,113 m <sup>3</sup>
	反応タンク	7,382 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	6,477 m <sup>3</sup>
	砂ろ過棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	桃生第1ポンプ場 桃生第2ポンプ場 桃生第3ポンプ場 河北第1ポンプ場 河北第2ポンプ場 河北第3ポンプ場 河北第4ポンプ場 河北第5ポンプ場 石巻第1ポンプ場 石巻第2ポンプ場 石巻第2-1ポンプ場 石巻第2-2ポンプ場 女川第1ポンプ場 女川第2ポンプ場 石巻第4ポンプ場 石巻第5ポンプ場 石巻第6ポンプ場	

④ 経営の状況

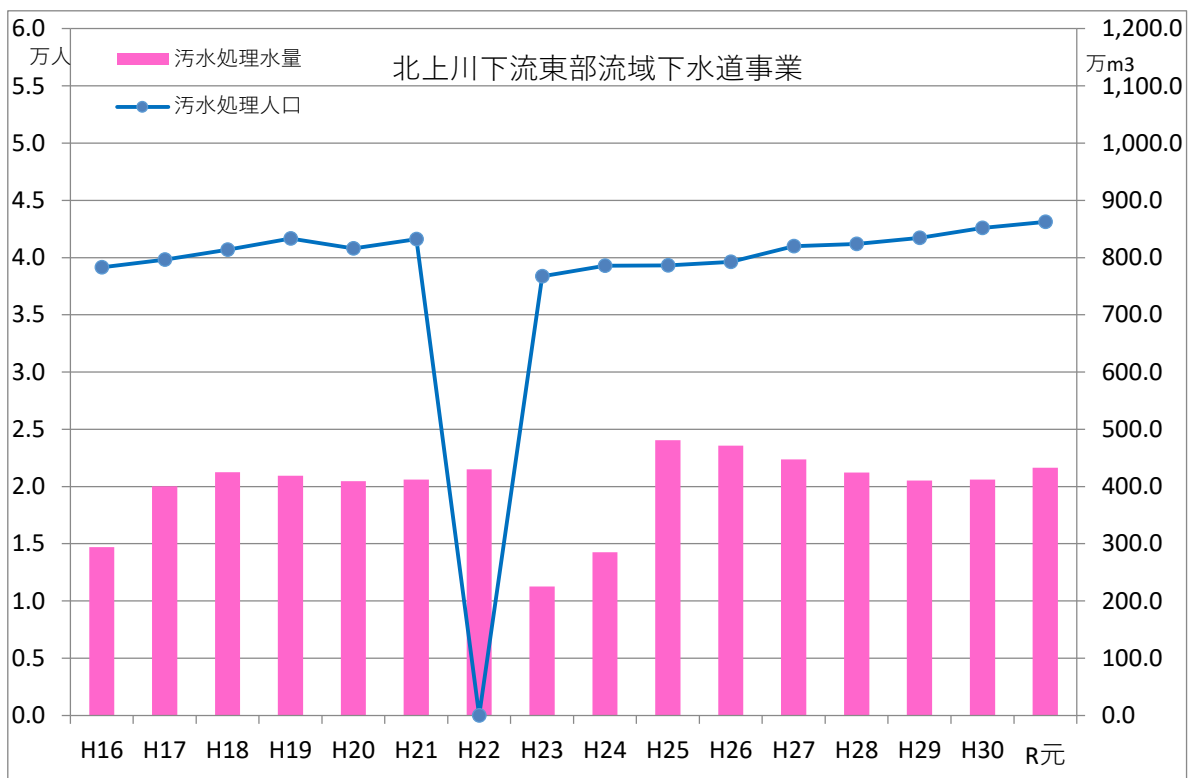
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処理人口 人	41,708	42,580	43,107	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	4,092,685	4,111,417	4,329,023	4,249,899	4,308,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	4,092,685	4,111,417	4,329,023	4,249,899	4,308,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	11,213	11,265	11,860	11,644	11,803
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管渠費 千円	—	—	4,858	16,303	16,959
H ポンプ場費 千円	—	—	73,975	61,290	82,473
I 処理場費 千円	—	—	422,498	455,893	424,400

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負担金 千円	525,091	527,494	544,591	534,637	541,946
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	130.0	130.0	125.8	125.8	125.8
汚水処理原価 円/m <sup>3</sup>	130.0	130.0			
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	128.3	128.3			
汚水処理原価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	1.7	1.7			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

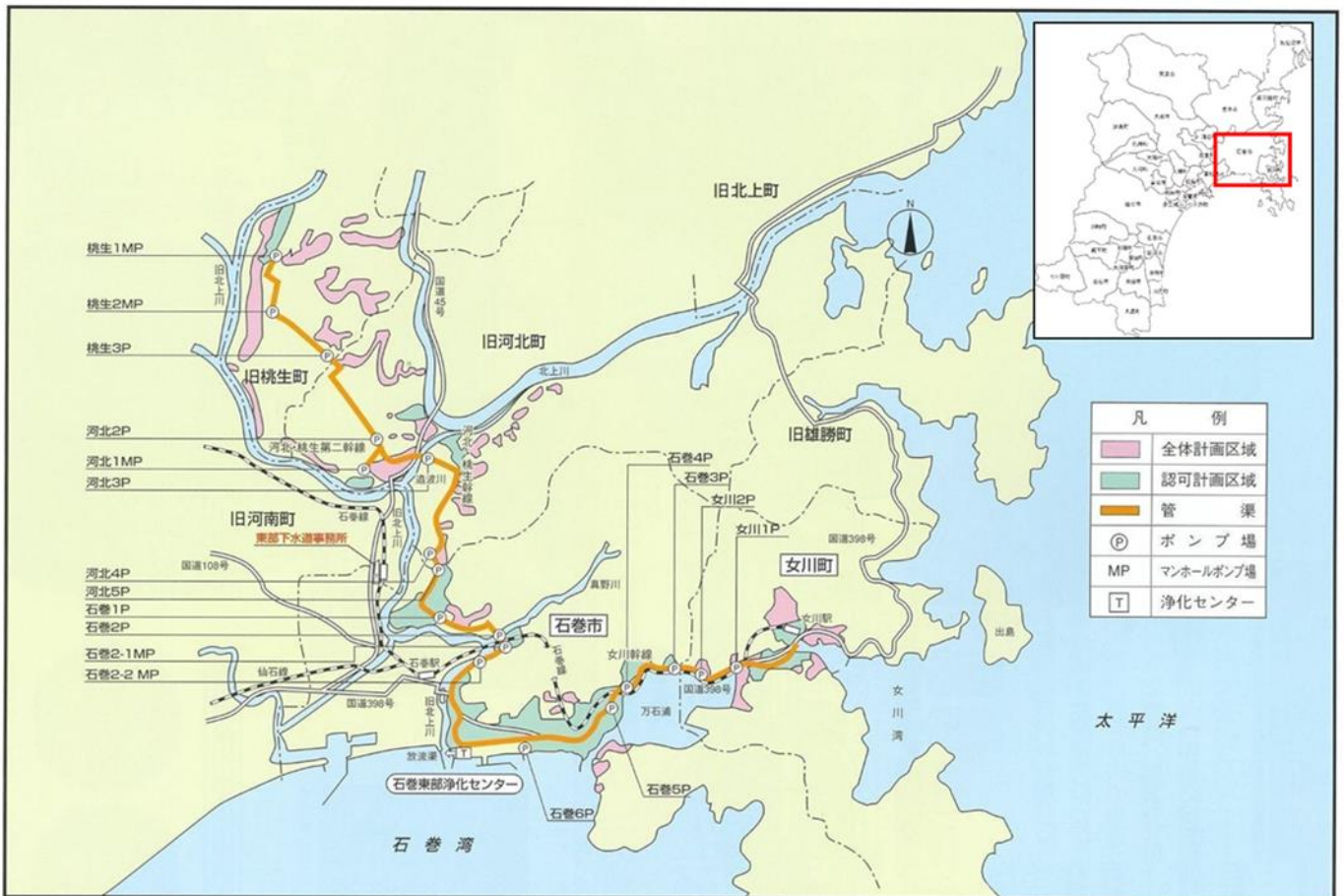
※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	544,591	540,271	541,946
	うち料金収入 千円	-	-	544,591	540,271	541,946
	営業外収益 千円	-	-	1,496,656	1,326,446	1,139,714
	特別収益 千円	-	-	0	6,285	0
	計 千円	-	-	2,041,247	1,873,002	1,681,660
支出	営業費用 千円	-	-	1,764,182	1,710,461	1,562,917
	営業外費用 千円	-	-	67,407	69,970	66,586
	特別損失 千円	-	-	184,930	54,815	8,063
	総費用(除受託) 千円	-	-	2,016,518	1,835,646	1,637,966
	計 千円	-	-	2,016,518	1,835,646	1,637,966
当年度純利益 千円		-	-	24,729	37,356	43,694

※ 消費税を含む。R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため，集計値無し。



(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市（栗原市・登米市）から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は55.4kmが整備され、令和元年度末の処理区域人口は28.6千人、下水道処理人口普及率は43.7%となっています。

● 令和3年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,460,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	6,740 m <sup>3</sup>

● 迫川流域計画一覧表（令和2年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	58,239ha		
処理面積	2,186.7ha	1,705.7ha	1,443.3ha
処理人口	24,400人	25,261人	28,642人
処理能力	14,475 m <sup>3</sup> /日	14,475 m <sup>3</sup> /日	9,650 m <sup>3</sup> /日
系列数	3	3	2
管渠延長	55,470m	55,470m	55,479m
ポンプ場	10箇所	10箇所	10箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

● 関連市日平均汚水流入量（令和元年度実績）（単位：m<sup>3</sup>/日）

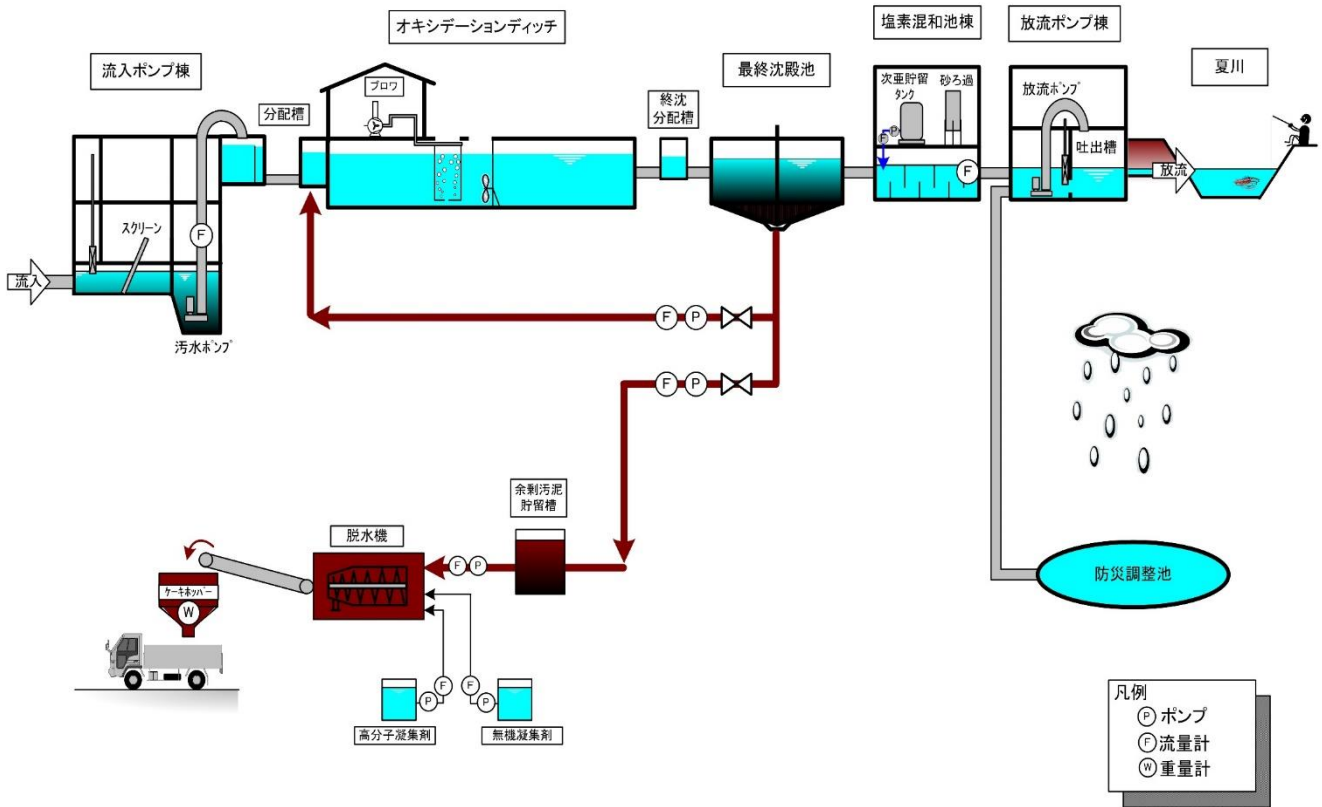
市町村名	汚水量
登米市	1,189
栗原市	5,641
合計	6,830

● 沿革及び認可関係（令和2年3月31日現在）

事業着手年度	平成5年度
供用開始年月日	平成12年7月1日
当初認可取得年月日	平成5年12月9日
最終変更認可年月日	平成30年3月30日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 石越浄化センター処理フロー

処理施設フローシート



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和元年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	18,063,649
	起 債	7,356,247
	他会計繰入金	947,735
	市町分担金	8,080,963
	そ の 他	0
	合 計	34,448,594

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	流入ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	9,716 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	4 池
	塩素混和池棟	1 棟
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場	
	若柳第 2 ポンプ場	
	若柳第 3 ポンプ場	
	志波姫ポンプ場	
	一迫ポンプ場	
	金成第 1 ポンプ場	
	金成第 2 ポンプ場	
	栗駒第 1 ポンプ場	
	栗駒第 2 ポンプ場	
	栗駒第 3 ポンプ場	



④ 経営の状況

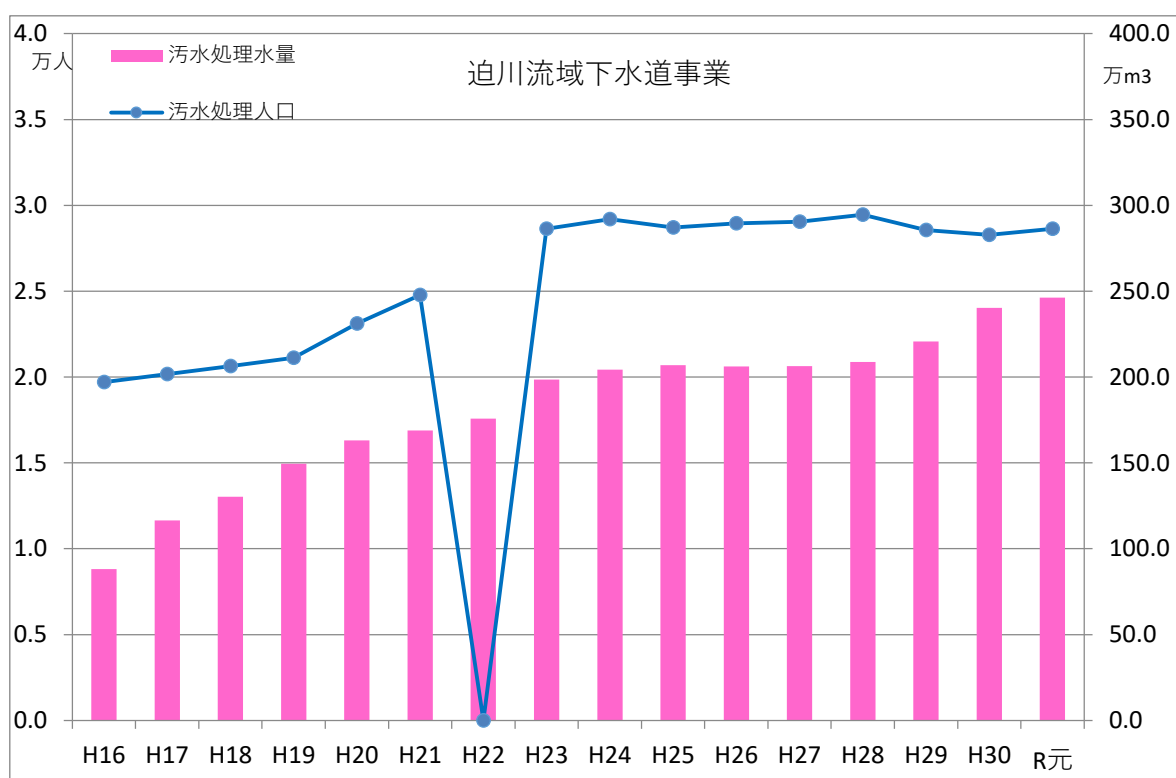
● 処理量等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処理人口 人	28,563	28,275	28,642	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	2,156,842	2,381,171	2,462,936	2,519,068	2,460,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	2,156,842	2,381,171	2,462,936	2,519,068	2,460,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	5,910	6,524	6,748	6,902	6,740
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管渠費 千円	—	—	6,459	7,358	10,946
H ポンプ場費 千円	—	—	57,077	49,915	67,718
I 処理場費 千円	—	—	242,332	206,305	222,170

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

● 料金等

年 度	H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
負担金 千円	284,056	313,600	326,832	334,280	326,442
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	132.7	132.7	132.7	132.7	132.7
汚水処理原価 円/m <sup>3</sup>	132.7	132.7			
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m <sup>3</sup>	131.7	131.7			
汚水処理原価 (資本費) 円/m <sup>3</sup>	1.0	1.0			

※ 消費税を含む。H29～R元は決算ベース，R2は最終現計予算ベース，R3は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

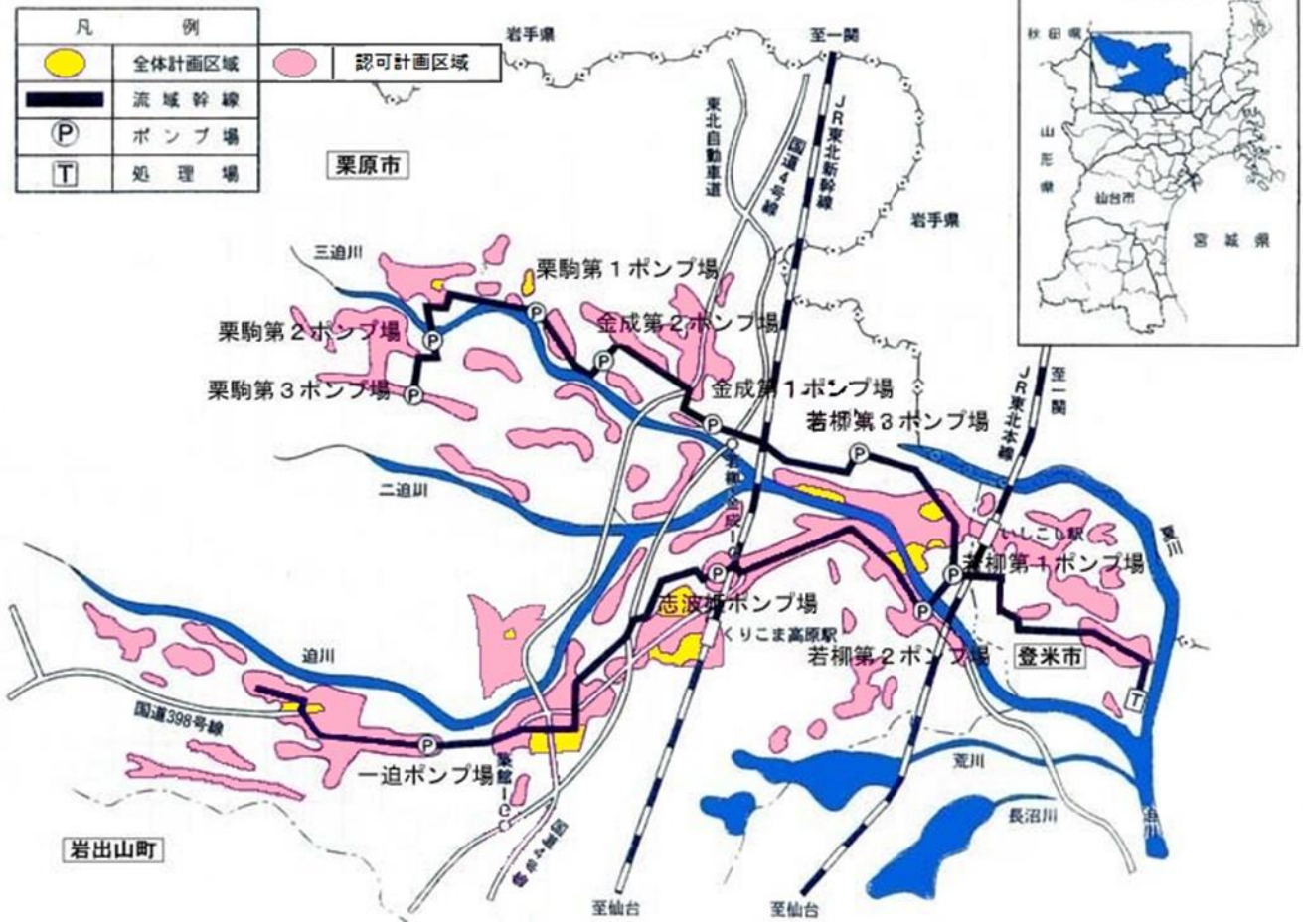
● 収支状況

年 度		H 29	H 30	R 元	R 2	R 3
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	326,831	337,234	326,442
	うち料金収入 千円	-	-	326,831	337,234	326,442
	営業外収益 千円	-	-	1,037,741	988,225	909,136
	特別収益 千円	-	-	0	12,743	0
	計 千円	-	-	1,364,572	1,338,202	1,235,578
支出	営業費用 千円	-	-	1,158,666	1,105,738	1,041,812
	営業外費用 千円	-	-	60,787	67,820	62,533
	特別損失 千円	-	-	1,715	29,870	0
	総費用(除受託) 千円	-	-	1,221,167	1,203,728	1,104,645
	計 千円	-	-	1,221,167	1,203,728	1,104,645
当年度純利益 千円		-	-	143,405	134,474	130,933

※ 消費税を含む。R元は決算ベース、R2は最終現計予算ベース、R3は当初予算ベースで作成。

※ H29～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

凡 例	
	全体計画区域
	認可計画区域
	流域幹線
	ポンプ場
	処理場





**宮城県企業局**